

- 第九條 死亡ハ十日以内ニ轉住(警察署分署所轄内ノ轉住ヲ言フ)改氏名ハ五日
内ニ廢業ハ直チニ所轄警察署又タハ分署へ届ケ出ツ可シ
- 第十條 營業者營業ヲナス家屋ニ居住セサルトキハ代理者ヲ定メ所轄警察署又
タハ分署へ届出認可ヲ受クヘシ
- 第十一條 前條ノ代理人及ヒ第三條第一項第二項ノ后見人保管人ヲ變更セント
スルトキハ亦前條ノ手續ヲナスヘシ
- 第十二條 娼妓ニ店ヲ張ラスヘカラス
但シ特ニ免許ヲ受ケタルトキハ此限ニアラス
- 第十三條 通行人ニ遊興ヲ勸誘シ又ハ家族雇人同居人等ヲシテ之ヲ勸誘セシム
可ラス
- 第十四條 娼妓失踪復歸又ハ死亡シタルトキハ直チニ所轄警察署又ハ分署へ届
ケ出ツ可シ
- 第十五條 娼妓ノ廢業又タハ休業センコトヲ求メタルトキハ正當ノ理由ナクシテ
拒ム可ラス

- 第十六條 娼妓ハ誠實ニ取扱ヒ疾病等ニ罹タル片ハ相當ノ治療ヲナサシム可シ
- 第十七條 娼妓ノ遵守ス可キ規則ハ解讀シ易キ方法ヲ施シ一名毎ニ一部宛渡シ
置ク可シ
- 第十八條 娼妓ノ願届ハ連署ス可シ
- 第十九條 遊興費ノ抵償トシテ遊客ノ所持品ヲ押収シ又ハ受領ス可カラス若シ
止ヲ得スシテ受領セントスルトキハ警察官吏ノ認可ヲ受ク可シ
- 第二十條 金錢ヲ受ケル目的ヲ以テ遊客ノ求メナキ食物ヲ差出シ又ハ藝妓幫
間等ヲ招ク可ラス
- 第二十一條 婦人及ヒ十六年未滿ノ男子ハ他人ノ同伴タリトモ遊興ヲナサシム
可ラス
- 第二十二條 面會ヲ求ムルモノアル遊客ヲ隱蔽シ又タハ其ノ執次ヲ拒ム可カラ
ス
- 第二十三條 遊客中金錢ヲ濫費シ又タハ身柄不相應ニ金品ヲ所持スルコトアル
ヲ認メタルトキ及三日以上繼續シテ遊興ヲナスモノアルトキハ直ニ警察官吏
ニ申告ス可シ

第二十四條 廁間ハ常に掃除ヲナシ時々防臭濟ヲ散布ス可シ

第二十五條 第壹号様式ニ倣ヒ遊客人名簿ヲ調製シ毎日午後十二時マテニ其ノ以后ノ分ハ翌日午前第六時マテニ所轄警察署又ハ分署又ハ巡查駐在所へ届出ツヘシ其ノ在ラサル地ニ於テハ五日毎ニ届出ツ可シ

第二十六條 同業者ハ一區域ヲ限リ規約ヲ設ケ所轄警察署又ハ分署へ届出認可ヲ受ク可シ

第二十七條 本章ノ願届ハ取締人ノ連署ヲ受ク可シ

第二章 娼妓

第二十八條 娼妓稼業ハ第一章ニ定メタル貸座敷内ニ限ルモノトス

第二十九條 娼妓ハ免許區域外ニ居住ス可ラス

第三十條 娼妓稼業ヲナサントスルモノハ其ノ事由及ヒ住処氏名年齢籍名ヲ記シ父母及ヒ紹介人アルトキハ共ニ連署ノ上左項ノ書類ヲ添へ自カラ所轄警察署又ハ分署へ願出免許鑑札ヲ受クヘシ

但シ父母アラサルハ最近ノ親族二名以上若シ親族アラサルトハハ確實ナル保証人二名以上ノ連署ヲ要ス

養女ニ係ルハ其養父母及實父母ノ内各一名若シ共ニ之レアラサルハ各最近ノ親族二名以上若シ之レアラサルハ確實ナル保証人二名以上ノ連署ヲ要ス

一 貸座敷主ト結ヒタル契約書ノ寫

二 原籍戸長ノ証明シタル戸籍ノ寫

第三十一條 左ニ掲グルモノハ免許セス

一 十六年未滿ノモノ

二 止ムヲ得サル事情ナシト認メタル者

三 盜罪詐欺取財贓物ニ關スル罪ノ処斷ヲ受ケタルモノ

四 身体不適當ト認メタル者

五 養女等ノ名義ヲ用ヒ豫テ娼妓トナス目的ヲ以テ貰ヒ受ケタリト認メタルモノ

第三十二條 免許鑑札ヲ與ヘタル后前條第三項又ハ第四項ニ該當スルカ若シク

ハ第三項又タハ第五項ニ該當セシトテ發見シタルトキハ之ヲ返納セシム

第三十三條 免許期限ハ三年以内トス

但シ止ムヲ得サル事情アルモノハ年限外ニ特許スルコアルヘシト雖モ通シテ九年ニ滿ツルハ重テ免許セス

第三十四條 延期稼業ヲナサントスルモノハ其ノ事由ヲ記シ第三十條ニ定メタル親族又ハ保証人連署ノ上貸座敷主ト結ヒタル契約書寫及ヒ舊鑑札ヲ添へ所轄警察署又ハ分署へ願出更テニ免許鑑札ヲ受ケ可シ

第三十五條 同一ノ警察署又ハ分署所轄内ニ於テ貸座敷ノ住替ヲナサントスルモノハ第三十條ニ定メタル親族又ハ保証人及ヒ双方貸座敷主ノ連署ノ上前條契約書ノ寫ヲ添へ所轄警察署又ハ分署へ届出テ免許鑑札ノ書換ヲ受ケヘシ

第三十六條 鑑札ヲ亡失毀損シ又ハ氏名ヲ改メタルトキハ五日內ニ又自宅ヲ移轉(自宅ヨリ出家スルモノ、宅ヲ賣フ)シタルハ直チニ所轄警察署又ハ分署ニ届出免許鑑札ノ書換又タハ再渡ヲ受ケ可シ

第三十七條 十日以上休業セントスルモノハ其事由ヲ記シ所轄警察署又ハ分署へ届出スヘシ開業スルハ亦同シ

第三十八條 稼業中ハ鑑札ヲ携帯ス可シ

第三十九條 鑑札ハ貸借ス可ラス

第四十條 滿期又ハ期限内廢業ハ直チニ所轄警察署又ハ分署へ届出テ鑑札ヲ返納ス可シ

第四十一條 通行人ニ遊興ヲ勸誘ス可ラス

第四十二條 稼業地區域外ニ宿泊セントスルトキハ其事由ヲ記シ所轄警察署又ハ分署へ届ケ出ツヘシ其歸宅シタルハ亦同シ

宿泊ヲ要セサルハ取締人ノ他出券ヲ受ケ之レヲ携帯シ歸宅シタルトキハ返付ス可シ

但シ身体検査其他正當ノ事故アリ官署又タハ検査所へ出頭スルハ此限ニアラス

第四十三條 別ニ定ムル規則ニヨリ定時身体検査ヲ受ケヘシ

第四十四條 新規開業休業稼業停止又タハ其ノ他ノ事故アリ定時検査ヲ受ケサルモノハ就業以前ニ及稼業中梅毒ニ感染セシコトヲ覺知シタルモノハ直ニ身体検査ヲ受ケヘシ

第四十五條 梅毒ヲ隠蔽シテ客ノ招キニ應スヘカラス

第四十六條 遊客ヨリ金品ヲ預リ又タハ貰ヒ受ケタルトキハ直ニ貸座敷主ニ告

知ス可シ

第四十七條 本章ニ關スル願届ハ貸座敷主及ヒ取締人ノ連署ヲ受クヘシ
但シ事情ニヨリ連署ナキ願届ヲ受理スルコトアルヘシ

第三章 取締人

第四十八條 貸座敷營業者ハ其區域毎ニ取締人一名副取締人一名ヲ撰ヒ所轄警
察署又ハ分署ヘ願出認可ヲ受クヘシ

第四十九條 取締人ハ左ノ資格アル者ニ限ルモノトス

- 一 二十五年以上ノ男子
- 二 相當資産ヲ有スルモノ
- 三 普通算筆ニ通シ諸規則類ヲ解讀シ得ルモノ

第五十條 取締人ハ區域内貸座敷及ヒ娼妓ニ關スル公共ノ事務ヲ取扱フモノト

第五十一條 副取締人ハ取締人ヲ補助シ其ノ差支ヘアルキハ代理ヲナスモノト

第五十二條 取締人ハ貸座敷及ヒ娼妓ノ願届ニ連署ス可シ

第五十三條 取締人副取締人ノ撰擧方法任期給料其他事務處ノ位置事務取扱ノ
權限及ヒ費用収支方法等ハ規則中ニ掲グル可シ

第五十四條 取締人ハ貸座敷及ヒ娼妓ノ名簿ヲ備置キ異動アル毎ニ加除ス可シ

第五十五條 娼妓他出券ヲ求ムルキハ之ヲ渡スヘシ

第五十六條 娼妓身体検査ノ定日ハ検査所ヘ出頭シ諸般ノ取締ヲナスヘシ

第四章 罰則

第五十七條 第二條第二十條第三十條第四十五條ニ違フモノ及ヒ第十五條ノ廢
業ヲ拒ミタルモノハ三日以上十日以下ノ拘留ニ處シ又ハ壹圓以上壹圓九拾五
錢以下ノ科料ニ處ス

第五十八條 第十二條第十三條第十六條第十九條第二十一條第二十二條第二十
三條第三十九條第四十一條第四十三條第四十四條ニ違フモノ及ヒ第十五條ノ
休業ヲ拒ミタルモノ第四十二條第一項ノ他出ヲ届ケ出サルモノ又ハ其屆書ニ
不實ノ事由ヲ記載シタルモノハ二日以上五日以下ノ拘留ニ處シ又ハ五十錢以
上壹圓五拾錢以下ノ科料ニ處ス

第五十九條 第七條第九條第十條第十四條第十七條第二十四條第二十五條第二十九條第三十五條第三十六條第三十七條第三十八條第四十條第四十六條ニ違フモノ及ヒ第八條ノ届ヲ怠リタルモノ第四十二條第一項ノ歸宅ヲ届出サルモノ全第二條ニ違フモノハ一日以上三日以下ノ拘留ニ處シ又ハ二拾錢以上一圓廿五錢以下ノ科料ニ處ス

附則

一本則第二十八條ノ規定ニ抱ハラス來ル十二月三十一日マテ從前ノ通り娼妓ノ遊客ノ招キニヨリ免許地ニ接スル海岸碇泊ノ船舶ニ赴クヲ得

第一號様式

月日	雜費	揚代	和双娼妓	遊客
何月何日	金何圓	何拾錢	何某	何府縣何郡區何町村何番屋敷何某何十年

訓令甲第五十二號

明治廿二年三月廿三日

外國人雇入方ハ内地旅行中ニ於テ締結スヘカラサル筋ニ付キ若シ之レカ締結セシモノハ其効無之ニ依リ其ノ旨豫テ示達シ且自今右雇入届進達ノ該進達ノ願書ハ締結セシ場所ヲ詳記シ差出シ候様取り計フヘシ

右訓令ス

縣令乙第七号

明治廿二年四月十八日

廣島尾道福山及ヒ吳ノ市街ニ於テ公衆ノ用ニ供スル爲メ街路ニ沿フタル地(社寺境内及市場等ヲ包含ス)ニ便所ヲ私設セントスルモノハ豫メ所轄警察署へ届出テ場所ノ檢査ヲ受ケ左ノ制限ニ從ヒ構造スヘシ

但シ已設ニ係ルモノニシテ位置構造ノ不適當ナルモノハ警察官吏ヨリ取り除ケ又タハ改造ヲ命スヘシ

一通路ニ背面ヲ向ケ(見陰アルモノヲ除ク)背面及ヒ側面ハ板又ハ壁ヲ以テ之

レヲ囲ヒ高サ五尺五寸以上ノ屋根ヲ付シ前面ニ踏石ヲ置クヘキ
一大便所ニハ戸及ヒ高サ壹尺以上ノ床敷ヲ設クベキ
一尿尿ヲ受容スヘキ部分ハ和ヲ用ヒタル陶器又ハ厚キ漆喰等滲透ノ患ナキ物
品ヲ用ユヘキ

●縣令甲第八十一號 明治廿二年五月十七日

坑業土工其他殘業用ニ供スル火藥類ノ爲メ其事業中仮貯藏所ヲ設ケントスルト
キハ所轄警察署又ハ分署ニ願ヒ出テ許可ヲ受クヘシ

●縣令甲第八十四號 明治廿二年五月廿五日

明治廿年(十月)廣島縣令甲第九十二號警察配置區劃表別冊ノ通り改定ス

(別冊)

廣島縣警察配置區劃

警察本部

位置安藝國廣島市大字水主町

廣島警察署

位置安藝國廣島市大字大手町一丁目

總管轄安藝國廣島市一圓

廣島市大字江波ニ巡查駐在所ヲ置ク

吳警察署

位置安藝國安藝郡和庄村

總管轄安藝國安藝郡一圓及佐伯郡ノ内三高村外八ヶ村

直轄村

安藝郡ノ内

和庄村 庄山田村 宮原村 吉浦村 大屋村 熊野村 本庄村大字(松原

苗代押込平谷川角) 燒山村 蒲刈島村

熊野村蒲刈島村へ巡查駐在所ヲ置ク

吳警察署 海田市分署 位置安藝國安藝郡海田市町

管轄町村

安藝郡ノ内

海田市町 奥海田村 畑賀村 矢野村 坂村 船越村 府中村 温品村

中山村 矢賀村 仁保島村 牛田村 戸坂村 上瀬野村 中野村 下瀬野

村

上瀬野村へ巡查派出所ヲ置キ仁保島村牛田村中野村ニ巡查駐在所ヲ置ク

吳警察署 瀬戸分署

位置安藝國安藝郡瀬戸島村

管轄村

安藝郡ノ内

瀬戸島村 渡子島村 磐固屋村 倉橋島村

倉橋島村ノ内字本浦及ヒ室尾ニ巡查駐在所ヲ置ク

吳警察署 江田分署 位置安藝國安藝郡江田島村

管轄村

安藝郡ノ内 佐伯郡ノ内

江田島村 飛渡瀬村 中村 高田村 鹿川村 三高村大字(三吉高祖) 沖

村大字(是永畑岡大王) 大柿村大字(小古江大君柿浦) 深江村 津久茂村

中村ニ巡查派出所ヲ置キ大柿村へ巡查駐在所ヲ置ク

廿日市警察署 位置安藝國佐伯郡廿日市町

總管轄安藝國佐伯郡(三高村沖村高田村中村鹿川村津久茂村深江村飛渡瀬村

大柿村ヲ除ク)一圓

直轄村

廿日市町 平良村大字(上平良下平良) 觀音村大字(千同倉重三宅坪井佐

方尾代) 草津村大字(草津新開唐手) 古田村大字(古江山田) 井ノ口村

己斐村 五海市村大字(五日市皆賀海老鹽濱) 河内村大字(上河内下河内

上小深川下小深川) 八幡村大字(保井田利松寺田高井口和田中地) 石田村

砂谷村大字(白砂伏谷葛原) 水内村大字(和田下麥谷) 上水内村大字(多

田管澤) 四和村大字(虫所山中道飯山粟栖) 吉和村 淺原村 津田村 玖

島村 三原村大字(吉田永原河津原) 三和村大字(昨渡瀬松ヶ原) 宮内村

地御前村 嚴島町

津田村及嚴島町ニ巡查派出所ヲ置キ草津村河内村砂谷村水内村吉和村四和

村玖島村己斐村へ駐在所ヲ置ク

廿日市警察署 大竹分署 位置安藝國佐伯郡大竹村

管轄村

大竹村大字(大竹小島新開) 小方村大字(小方黒川) 木野村 玖波村 大

野村 栗谷村大字(大栗林小栗林后原奥谷尻谷和) 油見村

玖波村ニ巡查派出所ヲ置キ栗谷村ニ巡查駐在所ヲ置ク

竹原警察署 位置安藝國賀茂郡竹原町

總管轄安藝國賀茂郡一圓及豐田郡ノ内木谷村吉名村

直轄間村

竹原町 下野村 東野村 莊野村大字(西野新庄) 賀永村大字(上三永仁賀) 三津村 早田原村大字(風早大田小松原) 内海村 三津口村 野路村 大字(中畑向赤坂下垣村原畑内平女子畑) 中切村 川尻村 内海村

豐田郡ノ内

木谷村 吉名村

内海村ニ巡查派出所ヲ置ク賀永村三津村川尻村野路村ニ巡查駐在所ヲ置ク

竹原警察署 四日市分署

位置安藝國賀茂郡(四日市次郎丸)村

管轄村

(四日市次郎丸)村 吉土實村大字(土與丸助實吉行) 下見村 御蘭字村 寺西村大字(寺家西條東) 下三永村 郷田村大字(田口郷實) 川上村大字 (飯田宗吉藤正方半滿) 西高屋村大字(檜山稻木中島杵原大畠宮領溝口郷) 造賀村 志和堀村 東志和村大字(志和東内) 西志和村大字(志和西別府 奥屋)冠(七條糞坂) 吉川村 原村 熊野跡村 上黒瀬村大字(南方(宗近

柳國) 坂城村大字(小多田馬木大澤) 福本(國近森近) 乃美尾村 東高屋村 大字(白市重兼貞重高屋堀高屋村)

志和堀村へ巡查派出所ヲ置キ東高屋村造賀村吉川村坂城村ニ巡查駐在所ヲ置ク

竹原警察署 廣分署

位置安藝國賀茂郡廣村

管轄村

廣村 阿賀村 仁方村 郷原村 下黒瀬村大字(津江兼澤) 中黒瀬村大字 (市飯田切田兼廣嶺原菅田上保田村角丸山大多田) 下黒瀬村ニ巡查駐在所ヲ置ク

忠海警察署

位置安藝國豐田郡忠海町

總管轄安藝國豐田郡(木谷村吉名村ヲ除ク)一圓

直轄間村

忠海町 大乘村大字(浦福田高崎) 佐江崎村大字(能地渡瀬) 南方村 沼田東村大字(七寶本市片島末廣納所釜山末光兩名) 沼田東村ノ内大字(總定) 小泉村 須波村 田野浦村 東野村 西野村大字(大串原田) 大崎

南村大字(沖浦明石方) 大崎中野村

大崎中野村ニ巡查派出所ヲ置キ南方村沼田東村須波村ニ巡查駐在所ヲ置ク

忠海警察署 本郷分署 位置安藝國豊田郡本郷村

管轄村

本郷村 長谷村大字(坂荻路沼田下) 高坂村大字(小林山中野土取許山眞良) 船木村 上北方村 田万里村 小谷村 入野村 善人寺村 大草村大字 大草平坂) 豊田村大字(和木小田) 川源村大字(安宿清武鍛冶屋) 樅梨村大字(上草井下草井大具椋梨) 乃美村大字(能良乃美別府) 久芳村 竹仁村大字(上竹仁下竹仁) 戸野村大字(戸野宇山造賀) 大河内村大字 (上河内中河内下河内河戸) 沼田西村(大字總定ヲ除ク) 大字(總定松江小原)

田萬里村乃美村ニ巡查派出所ヲ置ク大草村川源村久芳村戸野村ニ巡查駐在所ヲ置ク

忠海警察署 瀬戸田分署 位置安藝國豊田郡瀬戸田町

管轄村

瀬戸田町大字(瀬戸田澤) 西生口村大字(生口福田垂水) 北生口村大字(林生口中野鹿田原) 名荷村 鷺浦村大字(向田野浦須波ノ内字佐木) 高根島村 南生口村大字(荻宮原御寺) 東生口村大字(原洲江) 南生口村ニ巡查駐在所ヲ置ク

忠海警察署 御手洗分署 位置安藝國豊田郡御手洗町

管轄村

御手洗町 大長村 久友村大字(久比沖友) 豊濱村大字(齊島豊島大濱)

可部警察署 位置安藝國高宮郡可部町

總管轄安藝國沼田郡高宮郡一圓

直轄町村

高宮郡ノ内
可部町 龜山村大字(勝木大毛寺四日市今井田綾ヶ谷) 中原村大字(中島上原中野城) 深川村大字(中深川諸木未光下深川岩上玖) 三入村大字(南原下町屋上町屋桐原) 口田村大字(小田矢田) 大林村 狩小川村大字(狩留家上深川小河原) 福木村大字(馬木福田) 鈴張村 飯室村(沼田郡ノ内)

日浦村)大字(毛木後山宮野筒瀬) 小河内村 八木村
大林村狩小川村鈴張村へ巡查駐在所ヲ置ク

可部警察署 祇園分署 位置安藝國沼田郡祇園村

管轄村

沼田郡ノ内

祇園村大字(南下安北下安) 安村大字(大田中須相田上安高取長樂寺) 西

原村 東原村 緑井村 川内村大字(温井中調子) 久地村 戸山村八字

(阿戸吉山) 伴村大字(伴大塚) 三篠村大字(楠木打越新庄) 山本村大字

(東山本西山本) 長束村 高宮郡ノ内三川村大字(東野中筋古市)

久地村ニ巡查派出所ヲ置キ安村伴村三篠ニ巡查駐在所ヲ置ク

吉田警察署 位置安藝國高田郡吉田村

總管轄安藝國高田郡一圓

根野村北村ニ巡查派出所ヲ置キ甲立村刈田村三田村井原村舟佐村横田村生桑

村ニ巡查駐在所ヲ置ク

加計警察署 位置安藝國山縣郡加計村

總管轄安藝國山縣郡加計村一圓

直轄村

加計村 大字(加計津浪) 上殿村 殿賀村 大字(下殿河内下筒賀) 安野

村 大字(穴坪野ニ原村ノ内大字中原西宗) 都谷村 大字(都志見戸谷長

笹) 戸河内村 筒賀村 大字(中筒賀下筒賀) 吉坂村 大字(今吉田阿坂

吉本) 雄鹿原村 大字(政所雲耕宮地中組荒神原橋山) 八幡村大字(東八

幡原西八幡原) 中野村 大字(奥原才乙奥中原川小田細見大利原南門原草

安前屋形土橋) 山廻村ノ内大字(大暮)

雄鹿原村ニ巡查派出所ヲ置キ筒賀村安野村吉坂村都谷村戸河内村ノ内字本

郷并ニ松原へ巡查駐在所ヲ置ク

加計

警察署 有田分署 位置安藝國山縣郡八重村

管轄村

八重村 大字(石井谷有田右保利春本今田后有田寺原有間) 川追村 大字

(川戸中山藏追舞綱) 壬生村 大字(壬生川西川東惣森川井丁保余原)

本地村 南方村 大字(南方本次) 原村 大字(中原西宗ヲ除ク) 大字(中原西宗志路原海應寺上石下石) 新庄村 大字(新庄宮迫岩戸) 大朝村 大字(大塚後律大朝田原) 山廻村 大字(大暮ヲ除ク) 大字(溝口高野移原大暮米澤小原)

大朝村ニ巡查派出所ヲ置キ南方村原村川迫村山廻村ニ巡查駐在所ヲ置ク

尾道警察署

位置備后國御調郡尾道町

総管轄備后國御調郡一圓

直轄町村

尾道町 大字(久保尾崎十四日土堂) 吉和村 栗原村 深田村 大字(深ヲ除ク) 大字(久山田深) 向島西村 向島東村 立花村 岩子島村 美ノ郷村) 大字(三成白江猪子迫本郷中野) 木ノ庄村 大字(木門田畑市原江田國守木梨木梨山)原田村 大字(梶山田小原)市村 大字(市花尻平釜窪貝ヶ原高尾袖) 上川邊村大字(白太三郎九大町大藏中原本岩根) 下川邊村 大字(篠根河南僧殿河面) 奥村 大字(字山岡ヲ除ク) 大字(大原公文綾目野間ノ内字山岡) 諸田村 大字(下山田千堂諸毛小國大山田)

河内村 大字(九河南大田徳永丸門田) 菅野村 大字(菅平木大塔仁野) 宇津戸村 重井村 大濱村 中庄村 田熊村 土生村 三庄村 三浦村 大字(外ノ浦鏡ノ浦棕ノ浦) 市村重井村ニ巡查派出所ヲ置キ菅野村宇津戸村向島西村美ノ郷村上川邊村ニ巡查駐在所ヲ置ク

尾道

警察署

三原分署

位置備后國御調郡三原町

管轄町村

三原町 大字(三原町宮ノ浦) 西野村 山中村 貢村 大字(東野木原) 久井村 大字(江木下津吉田藪原) 今津野村 大字(今田植野津壺福井野間ノ内字山岡ヲ除ク) 八幡村 大字(宮内屋中野串籬垣内美生本庄) 坂井原村 羽和泉村 大字(和泉和草深田村ノ内大字羽倉深奥村ノ内山岡) 貢村久井村八幡村ニ巡查駐在所ヲ置ク

今津警察署

位置備后國沼隈郡今津村

総管轄備后國沼隈郡一圓

直轄村

今津村 松永村 柳津村 東村 本郷村 西村 高須村 山波村 津ノ郷
村 大字(津ノ郷加屋) 赤坂村 大字(早戸赤坂) 神村 瀬戸村 大字(長和山北地頭分) 神島村 草戸村 山手村 郷分村 佐波村 藤江村 金
江村 大字(藁江金見) 浦崎村
津ノ郷村 神島村 藤江村ニ巡查駐在所ヲ置ク

今津

警察署 額分署

位置備后國沼隈郡額町

管轄町村

額町 大字(后地額) 水呑村 田尻村 走島村 熊野村 小南村 大村
(上山南山中下山南) 千年村 (常石草深能登原) 田島村 横島村 百島村
熊野村 千年村 田島村ニ巡查駐在所ヲ置ク
福山警察署 位置備后國深津郡福山村
總管轄備后國深津郡一圓
中津原村 坪生村 大津野村ニ巡查駐在所ヲ置ク

神邊警察署

位置備后國安那郡川南村

總管轄備后國安那郡一圓

山野村 下加茂村 御野村ニ巡查駐在所ヲ置ク

府中警察署

位置備后國芳田郡府中市村

總管轄備后國芳田郡品治郡一圓

直轄村

芳田郡ノ内
府中市村 出口村 廣谷村 大字(廣谷町本山) 國府村 大字(府川高木
中須) 岩谷村 大字(荒谷目崎上山父石) 栗生村 大字(土生栗柄) 有磨
村 大字(柞磨上有地下有地) 河佐村 大字(久佐河面) 木野山村 桑木
村 行藤村 藤尾村 常金丸村 大字(金丸常) 阿字村
有磨村 河佐村 木野山村 常金丸村ニ巡查駐在所ヲ置ク

府中市

警察署 太田分署

位置備后國品治郡戸田村

管轄村

品治郡

戸田村 大字(戸手近田) 新市村 倉光村 中島村 万能倉村 江良村
防寺村 服部村 大字(雨木服部本郷助元新山服部長谷) 宜山村 大字(向永谷大橋今岡上山寺下山寺) 綱引村 大字(宮内上安井下安井) 芦田郡ノ内福相村 大字(相方福田)

福部村宜山村ニ巡查駐在所ヲ置ク

油木警察署

位置備后國神石郡油木村

總管轄備后國神石郡一圓

小畑村ニ巡查派出所ヲ署キ來見村永渡村高蓋村福永村下豊根村ニ巡查駐在所ヲ置ク

東城警察署

位置備后國奴可郡東城村

總管轄備后國奴可郡壹圓

東城村 大字(東城川西川東福城戸字) 田森村 大字(粟田竹森) 八幡村 大字 (川島保田森田黒菅愛原) 久代村 小奴可村 大字(小奴可加谷内堀鹽原千島小串) 八鉢村 大字(小島原油木三坂高尾)

小奴可村ニ巡查派出所ヲ置キ八幡村八鉢村小奴可村ノ内大内字堀ニ巡查駐在所ヲ置ク

東城

警察署 西城分署

位置備后國奴可郡西城村

管轄村

西城村 大字(西城入江栗平子大佐) 帝釋村 大字(來渡始終山中宇山) 美古登村 大字(中野八鳥熊野大屋中迫) 帝釋村美古登村ニ巡查駐在所ヲ置ク

庄原警察署

位置備后國三上郡庄原村

總管轄備后國三上郡惠蘇郡一圓

直轄村

三上郡一圓 惠蘇郡ノ内山内東村 大字(田原市三日市上原下原戸郷) 山内西村(大字高茂水越ヲ除ク) 大字(殿垣内本郷高茂尾引木戸上下水越) 山内北村 大字(川北濁川門田) 比和村(大字古頃ヲ除ク) 大字(比和森 脇木屋原三河内)

降田村山内西村山内北村比和村ニ巡查駐在所ヲ置ク

庄原

警察署 新市分署

位置備后國惠蘇郡高野山村

管轄村

惠蘇郡ノ内高野山村 大字(新市上湯川下湯川和南原南高暮中門田奥門田

下門田岡大内上里原) 口北村 大字(向泉大月竹地谷宮内) 口南村

大字(永田金田常定湯木) 比和村ノ内(大字古頃) (山内西村ノ内(大字高茂水越)

口北村ニ巡查派出所ヲ置キ口南村及高野山村大上里原ニ巡查駐在所ヲ置ク

三次警察署

位置備后國三次郡三次町

總管轄備后國三次郡一圓

布野村ニ巡查派出所ヲ置キ板木村川地村君田村ノ内大字榎田東入君作木村

ノ内大字大島大津香淀ニ巡查駐在所ヲ置ク

三良坂警察署

位置備后國三谿郡三良坂村

總管轄備后國三谿郡一圓

八幡村ニ巡查派出所ヲ置キ田幸村川西村和田村ニ巡查駐在所ヲ置ク

上下警察署

位置備后國甲奴郡上下村

總管轄備后國甲奴郡一圓

稲草村岡屋村中領家村ニ巡查駐在所ヲ置ク

甲山警察署

位置備后國世羅郡甲山村

總管轄備后國世羅郡一圓

小國村ニ巡查派出所ヲ置キ三川村廣定村大見村西大田村神田村津名村ニ巡

査駐在所ヲ置ク

廣島水上警察署

位置安藝國廣島市宇品町

總管轄安藝國廣島市安藝郡佐伯郡及ヒ賀茂郡ノ内阿賀村七ヶ村沿海

直轄

廣島市諸川 佐伯郡(大柿村ノ内大字大君柿ノ浦及深江村ノ内字片島ヲ除

ク)

安藝郡ノ内

仁保島村 海田市村 失野村 坂村 大屋村 吉浦村 江田島村 大字

(字秋月小用ヲ除ク)

廣島

水上警察署 瀬戸分署 位置安藝國安藝郡瀬戸島村

管轄

安藝郡ノ内(警固屋村宮原村) 瀬戸島村 渡ノ子島村 倉橋島村 蒲刈島村

江田島ノ内大字

小用秋月

佐伯郡大梯村ノ内大字大倉 柿ノ浦 深江村ノ内字片島 加茂郡ノ内

阿賀村 廣村 仁方村 川尻村 中切村 内海跡村 内海村 三津口村

沿海

尾道水上警察署

位置備后國御調郡尾道町

總管轄備后國御調郡沼隈郡深津郡及安藝國豊田郡并賀茂郡ノ内竹原町外二ヶ村沿海

直轄

沼隈郡ノ内

御調郡 山波村 高須村 今津村 松永村 金江村 藤江村

豊田郡ノ内

田野浦村 須波村 西生口村 佐江崎村(鷺浦村) 高根嶋村 瀬戸田村

東生口村 名荷村 北生口村 南生口村 沿海

尾道

水上警察署 輛分署

位置備后國沼隈郡輛町

管轄

沼隈郡ノ内

輛町 浦崎村 横島村 千歳村 田島村 首島村 走島村 田尻村

水呑村 深津郡 沿海

尾道

水上警察署 木ノ江分署 位置安藝國豊田郡大崎中野村

管轄

豊田郡ノ内

忠海町 西野村 東野村 大崎中野村 大崎南村 大乗村 吉名村
木谷村

加茂郡ノ内

竹原町 早田原村 三津村 沿海

尾道

水上警察署 御手洗分署

位置安藝國豊田郡御手洗町

管轄

豊田郡ノ内

御手洗町 大長村 豊濱村 久友村

合計

警察本部 一 警察署 (内水上警察署二) 廿二 警察分署 (内水上分署四)

二十 巡查派出所 廿三 巡查駐在所 百二十

●縣令甲第百二号

明治廿二年六月廿九日

明治十七年二月甲第十二号布達中屠牛營業取締規則及ヒ牛肉販賣取締規則ヲ廢

シ屠獸賣肉取締規則左ノ通相定ム

屠獸賣肉取締規則

第一章 屠獸場

第一條 屠獸場トハ食用ニ供スル牛馬羊豚ヲ屠殺スル場所ヲ云フ

第二條 前條ノ獸類ハ屠獸場外ニ於テ屠殺ス可ラス但自由ノタメニ羊豚ヲ屠殺スルハ此限ニアラス

第三條 屠獸場ニ於テ斃獸ヲ解体シ又ハ病獸ヲ屠殺ス可ラス

第四條 屠獸場ヲ新設ナサントスル者ハ左項ノ書類ヲ常備ヘ願出テ免許ヲ受ク

ヘシ
一 構造及地形ノ圖面 畜室汚物溜屠獸留場其他建物ノ區別坪數及用水汲取場等ノ詳記ヲ要ス

二 四隣三十間以内ノ地主承諾証

三 借地ヲ以テ屠獸場ニ充ツルトキハ其地主承諾証

第五條 屠獸場ノ位置及構造ハ左項ニ遵フ可シ

一 人家官公有ノ建築物社寺及飲食ニ供スル河井泉國道縣道ヲ距ル六十間

以上ノ場所タルヲ

- 二 屠獸場ノ周囲ハ高サ六尺以上ノ墻塀ヲ設ケル
- 三 屠室ノ地盤ハ一寸以上ノ勾配ヲ付シ一丈ノ溝ヲ穿テ凹凸ナキ石ヲ敷キ間隙ハ漆喰又ハ(セメント)ヲ以テ填塞スル
- 四 屠室ノ内部ハ石又ハ煉瓦ヲ以テ築キタルモノ、外ハ高サ六尺厚サ一寸上ノ板ヲ以テ張り且(ベンキ)ヲ塗ル
- 五 汚物溜ハ屠室ヲ距ル二間以上ノ場所ニ於テ陶器又ハ漆喰等(不透過質以ノモノ)ヲ以テ設ケ覆蓋ヲナス
- 六 屠室ヨリ汚物溜ニ通スル溝ハ不透過質ノモノヲ以テ覆蓋ヲナス
- 七 屠獸繫留場ハ屠室ヲ距ル三間以上ノ場所ニ設ケル
- 第六條 免許ノ后一ケ年内ニ工事落成セルトキハ免許ノ効ヲ失フ
- 第七條 改造セントスルトキハ第四條第一項ノ圖面ヲ添ヘ當廳へ届出認可ヲ受ケ可シ
- 第八條 新設又ハ改造落成シタルトキハ使用以前ニ所轄警察署又ハ分署ニ届出檢査ヲ受ケヘシ
- 第九條 屠獸場ニハ第一号離形ノ看板ヲ掲ケヘシ

第十條 廢業轉住代替改名又ハ賣買讓與ハ五日以内ニ當廳へ届出ヘシ但賣買讓與ハ双方連署ニスヘシ

第十一條 本章ニ關シ當廳へ差出ス願届ハ所轄警察署又ハ分署ヲ經由ス可シ

第二章 屠獸營業

第十二條 屠獸營業トハ第一條ニ定メタル獸類ヲ屠殺シ販賣スルモノヲ云フ但シ屠獸場外ニ出店シ卸賣又ハ小賣ヲナサントスルモノハ第三章ニ遵フヘシ

第十三條 營業ヲナサントスル者ノ屠獸場ヲ記載シ營業地所轄警察署又ハ分署へ願出免許ヲ受ケ可シ但シ他人所有ノ屠獸場ニ係ルトキハ場主ハ連署ヲ受ケ可シ

第十四條 前條但書ニ係ル屠獸場ヲ變更セントスルトキハ場主ノ連署ヲ受ケ營業地所轄警察署又ハ分署ニ届出ツヘシ

第十五條 免許ノ后六ヶ月以上開業セス若シクハ休業六ヶ月ニ至リタルトキハ免許ノ効ヲ失フ

第十六條 屠獸營業者ハ斃獸ヲ解体シ又ハ病獸ヲ屠殺スルコトヲ得ス

第十七條 營業者ハ屠殺ノ日時ヲ定メ豫メ營業地所轄警察署分署巡查派出所ノ

中へ届ケ出スヘシ

第十八條 營業者ハ屠殺前警察官吏ノ立會ヲ得獸醫ヲシテ屠獸ノ診査ヲナサシム可シ

第十九條 警察官吏ニ於テ病獸ト認ムルトキハ屠殺ヲ止メ又ハ屠殺シタル后販賣ヲ禁止スルコトアルヘシ

第二十條 營業者ハ第二号様式ニ倣ヒ屠獸明細帳ヲ製シ屠殺前警察官吏ノ認印ヲ受ク可シ又此帳簿ハ二年間保存ス可シ

第二十一條 屠殺ノ時間ハ午前三時ヨリ全十時迄トス但シ時宜ニヨリ伸縮スルコトアルヘシ

第二十二條 屠殺ノ際ハ濫リニ他人ヲ入ルヘカラス

第二十三條 屠肉ハ警察官吏ノ捺印ヲ受ケタル后ニアラサレバ場外ニ出ス可ラス

第二十四條 屠肉ハ直ニ一定ノ室内ニ於テ地盤ヲ距ル高サ三尺以上鉤揚ケルカ若シクハ全等ノ高サアル卓子等ニ載ス可シ

第二十五條 屠室ハ使用ノ后直ニ掃除ス可シ

腸皮膚骨其他ノ汚物ハ一頭毎ニ取除キ屠室内ニ置ク可ラズ

第二十六條 獸疫流行ノ際警察官ニ於テ其種類ヲ限リ屠殺ヲ停止スルコトアルヘシ

第二十七條 營業者ハ第三号様式ニ倣ヒ屠獸買入明細帳及ヒ第四号様式ニ倣ヒ屠肉賣渡(小賣ヲ除ク)明細帳ヲ製ス可シ又此帳簿ハ二年間保存スヘシ

第二十八條 營業轉住代替改氏名ハ五日以内ニ營業地所轄警察署又ハ分署へ届出スヘシ

第二十九條 自用者ノ依頼ヲ受ケ屠殺シタル獸類ハ第三号様式ニ倣ヒ別ニ明細帳ヲ造ルヘシ又此帳簿ハ二年間保存スヘシ

第三章

卸賣商小賣商

第三十條 卸賣商トハ屠殺營業者ヨリ買入レタル肉ヲ小賣商ニ販賣スル者ヲ言フ小賣商トハ屠殺營業者又ハ卸賣商ヨリ買入タル屠肉ヲ自用者其他ニ販賣スルモノヲ言フ

第三十一條 卸賣又ハ小賣ヲナサントスルモノハ屠肉種類ヲ記シ所轄警察署又ハ分署へ届出スヘシ其種類ヲ變更セントスルトキ亦タ全シ但シ馬肉ノ卸賣小賣

商ハ他ノ獸肉ヲ賣買スルコトヲ得ス

第三十二條 卸賣商小賣商ハ非營業者ヨリ屠肉ヲ買フ可カラス但シ特ニ免許ヲ得タルルハ此限ニアラス

第三十三條 卸賣商ハ第四号様式ニ倣ヒ屠肉賣渡明細帳ヲ製ス可シ又此帳簿ハ二年間保存スヘシ

第三十四條 廢業轉住代替改氏名ハ五日以内ニ所轄警察署又ハ分署ニ届出スヘシ但シ警察署又ハ分署所轄外ニ轉住シ繼續營業ヲナサントスルトキハ更ニ第三十一條ノ手續ヲナスヘシ

第四章 行商

第三十五條 屠肉ノ行商ヲナサントシ又ハ家族雇人ヲシテ之ヲナサシメントスルモノハ其住處氏名年齢又ビ卸賣又ハ小賣ノ種別ヲ記シ所轄警察署又ハ分署へ届出一名毎ニ鑑札一個ヲ受クヘシ

第三十六條 鑑札ハ就業ノ節携帯シ何人ニテモ之レヲ見ントヲ求ムルルキハ直ニ示スヘシ

第三十七條 鑑札ハ貸借ス可ラス

第三十八條 卸賣行商ハ第四号様式ニ倣ヒ別ニ屠肉賣渡明細帳ヲ製スヘシ又此帳簿ハ二年間保存スヘシ

第三十九條 鑑札ヲ亡失毀損シ又ハ族籍氏名ニ異動ヲ生シタルトキハ五日以内ニ所轄警察署又ハ分署へ届出鑑札ノ書換又ハ再渡ヲ受クヘシ
廢業シタルトキハ直ニ鑑札ヲ返納スヘシ

第五章 罰則

第四十條 第二條第三條第四條第七條第八條第十三條第十六條第十七條第十八條第二十三條第三十一條第三十二條第三十五條ニ違フ者ハ二日以上五日以下ノ拘留ニ處シ又ハ五拾錢以上壹圓五拾錢以下ノ科料ニ處ス

第四十一條 第十條第十四條第二十條第二十一條第二十四條第二十五條第二十七條第二十八條第二十九條第三十三條第三十四條第三十六條第三十七條第三十八條第三十九條ニ違フ者ノハ一日以上三日以下ノ拘留ニ處シ又ハ貳拾錢以上壹圓五拾錢以下ノ科料ニ處ス

附則

本則第五條ニ抵觸スル已設ノ屠殺場ハ明治二十三年二月三十一日迄ニ改造又ハ

移轉スヘシ違フモノハ免許ノ効ヲ失フ

第一號離形

看板

三尺

屠獸場

住所持主
何 某

第二號樣式

屠獸明細帳

年月日	番 号	牝又ハ牡	年 齡	獸 名

備考 番号ハ一頭毎ニ逐次記入スルモノトス又獸ノ種類ニヨリ帳中別ニ座ヲ設ケ種別記載ス可シ

第三號樣式

屠獸買入明細帳

年月日	數	名	牝	牡	年 齡	頭 數	賣渡人住所氏名 又ハ依頼人住所氏名

一湯屋宿屋人方車馬車營業遺留品又ハ換易品届

●縣令甲第百貳拾號

明治二十二年十月廿四日

明治二十年(七月)廣島縣甲第六二號ヲ廢止シ街路取締規則第二條ニ依リ旅行區域更ニ左ノ通相定ム

一本規ハ廣島市尾道町福山町ノ市街ニ旅行ス

一本規中第五條第六條第七條第八條第九條第十條第十一條第十四條第十五條第十六條第十七條第十八條第十九條第二十條第二十一條第二十二條第二十三條第二十四條第二十六條第二十七條第二十八條第二十九條第三十條第三十一條第三十二條第三十三條第三十四條第三十五條第三十六條第三十七條第三十八條第三十九條第四十條第四十一條第四十二條第四十三條第四十四條第四十五條第四十六條第四十七條第四十八條第四十九條第五十條第五十一條第五十二條第五十三條第五十四條第五十五條第五十六條第五十七條第五十八條第六十條ハ前項ニ掲載シタル以外ノ市街ニ施行ス

一本則中第六條ノ内三項四項九項十項十二項第七條第八條第九條第十條第十一條第十四條第十五條第十六條第十七條第十八條第十九條第二十條第二十一條第二十二條第二十三條第二十四條第二十五條第二十六條第二十七條第二十八條第二十九條第三十條第三十一條第三十二條第三十三條第三十四條第三十五條第三十六條第三十七條第三十八條第三十九條第四十條第四十一條第四十二條第四十三條第四十四條第四十五條第四十六條第四十七條第四十八條第四十九條第五十條第五十一條第五十二條第五十三條第五十四條第五十五條第五十六條第五十七條第五十八條第六十條ハ前項ニ掲載シタル以外ノ市街ニ施行ス

條第四十九條第五條第五十一條第五十二條第五十三條第五十四條第五十五條第五十七條ハ一般ノ公道ニモ亦之ヲ適用ス

●告甲第百五號

明治廿二年十月廿四日

本縣警察規則ニ於テ市街ト稱スルモノハ左ニ掲グル市町村ニシテ連楯ノ箇所トス

但本文ニ掲載セサル町村ト雖モ連楯ノ箇所ハ市街ニ準ス

廣島市	吉浦村	莊山田村	和庄村	海田市村
安藝郡	廿日市村	南津村	嚴島村	
佐伯郡	竹原町	四日市次郎丸村		
賀茂郡	忠海村	本郷村	瀬戸田村	御手洗町
豐田郡	可部町			
高宮郡	祇園村	三篠村		
沼田郡	吉田村			
高田郡	尾道町	三原町		
御調郡				

澄隈郡	今津村	鞆町
深津郡	福山町	
芦田郡	府中市村	
安那郡	川北村	川南村
三次郡	三次町	
奴可郡	東城村	西津村
三上郡	庄原村	
惠蘇郡	山内東村	
三鷺郡	三良坂村	吉舎村
甲奴郡	上下村	
世羅郡	甲山村	

●縣令甲第百二十號
コロシヤ酸格魯兒酸加溜護ヒソキシカ（增素酸加溜護又ハ鹽酸加量）ヲ賣買授受スルルハ豫メ其斤量及需用ノ目的ヲ明記シ雙方連署ノ上賣主授主ノ所轄警察署又ハ分署へ届出認可ヲ受クヘシ但警察官ハ臨時其現品ヲ検査スルコトアルヘシ
 明治二十二年十一月十二日

前項ノ手續ニ違反シ賣買授受ヲ爲シタルモノハ一圓以上一圓九拾錢以下ノ科料又ハ三日以上十日以下ノ拘留ニ處ス

●訓令甲第百三十號
 明治二十二年十一月十四日
 海軍々人屬ノ犯罪者送致方ニ付別紙ノ通り訓令アリ
 右訓令ス
 （別紙ハ略ス）

●縣令第百二十八號
 明治二十二年十二月九日
 明治二十二年（三月）廣島縣令甲第四十七號貸座敷娼妓取締規則附則ノ事項ハ廣島市尾道町免許地ニ接スル海岸ヲ除クノ外更ニ明治廿四年十二月三十一日迄猶豫ス

●縣令甲第百三拾貳號
 明治二十二年十二月十九日
 明治十七年（一月）本縣甲第號巡查派出請願規則別冊ノ通改正シ明治二十三年一月一日ヨリ施行ス
 （別冊）

巡查派出請願規則

第一條 巡查派出所請願スルモノハ巡查員數派出ノ場所及期限ヲ記シ一ヶ月以上ハ當廳ニ一ヶ月未満ハ所轄警察署ニ願出ツヘシ

第二條 晝夜一名ノ常詰ヲ要スル者ハ二名ヲ以テ輪番勤務セシムルニヨリ二名分ノ費用ヲ上納スベシ其二名以上ヲ要スル片亦タ之ニ準ス晝又ハ夜ノミ派出請願スルモノハ一名分ノ費用ヲ上納スベシ

第三條 巡查一名ニ對スル一ヶ月ノ費用左ノ如シ

種別	金額
俸給	七拾貳圓
被服帶具費 初年 次年	貳拾圓以内 拾五圓以内
備品費 初年 次年	拾圓以内 修繕又ハ新調ヲ要セザレハ之ヲ徴セス
消耗費	八圓以内
巡查詰所借入料	拾圓以内

第四條 被服帶具品ノ保存期限及支給方法ハ一般巡查ノ例ニ依ル

第五條 備品消耗品及巡查詰所ハ請願者ニ於テ現品ヲ支辨スルヲ得但シ現品ヲ支給セントスル片ハ出願ノ際併セテ申出スベシ

第六條 一ヶ月以内巡查派出所請願スルモノハ辦當料トシテ一日ニ付金四拾錢ノ割合ヲ以テ前納スヘシ晝又ハ夜ノミ派出ヲ請願スルモノハ一日ニ付金貳拾錢ノ割合ヲ以テ前納スヘシ備品消耗品ハ現品差出モノトス但便宜代金ヲ上納スルヲ得

第七條 旅費日常及給助金等支給方法ハ都テ一般ノ規則ニ依ル但給助金上納ニ差支ヘナキ爲メ派出請願許可ノ際保証人連署ノ定約書ヲ差出置クヘシ

第八條 派出巡查ニ關スル金錢爲換料手數料郵便税及物品運送費ハ請願者ヨリ上納スヘシ

第九條 巡查派出所期限内之ヲ謝絶セントスル片三十日以前ニ届出ツヘシ若シ否ラサル片ハ其月ノ費用ヲ上納セシムルコトアルヘシ但シ一ヶ月内派出請願ノ者ハ此限りニ非ス

第十條 第三條第七條及第八條ノ金額ハ請願許可ノ後豫算額及納期ヲ指示ス

第十一條 豫算費額ヲ滯納スル節ハ直ニ派出ヲ停止ス

第十二條 豫算額ニ不足ヲ生スルハ補充ノ費額ヲ上納スヘシ又剩余アルハ

之ヲ返付シ若クハ翌年度ニ繰越スモノトス

第十三條 巡查ノ派出ヲ謝絶シタルハ若クハ官ノ都合ヲ以テ之ヲ停止シタルハ

費額ノ剩余被服ノ保存期限ヲ過キサルモノ及帶具品并ニ詰所ノ備付消耗品ハ

現品ヲ返付ス但シ被服ニ属スル徽章ハ之ヲ返付セズ

第十四條 合計一周年度ノ收支ハ翌年度五月限り決算書ヲ願人ニ下付スルモノ

トス但期限内ニ於テ謝絶ヲ願出ル時ハ其際決算書ヲ下付ス

第十五條 本則ニ依リ當廳へ差出ス書面ハ管轄警察署ヲ經由スヘシ

●縣令第四百四十三號 明治二十二年十二月廿八日

消防規則組左ノ通相定ム

但既設ノ消防組ト雖モ本則ニ從ヒ此際更ニ編成スベシ

消防組規則

第一條 凡ソ市町村ニ於テ編成スルモノヲ公設消防組ト稱シ會社又ハ一個人若

クハ數人ニ於テ編成スルモノヲ私設消防組ト稱ス

第二條 消防組ノ職務執行ハ警察官之ヲ指揮監督ス

第三條 公設消防組ノ名稱ハ市町村名ヲ冠稱シ其敷組ニ分ツモノハ番號又ハ字

若クハ方位ヲ以テ區別ヲ爲スヘシ私設消防組ノ名稱ハ適宜之レヲ定ムベシ

第四條 公設消防組ヲ編成シタルハ市長村長ヨリ左記ノ事項ヲ詳記シ所轄警

察署又ハ分署ヲ經由シ當廳へ届出ツベシ爾后變更アリタルハ亦全シ

一 編成ノ方法 (抱人員組數并ニ旗持總持御筒方)

二 組名 (槽子方黨方ノ役割人別等)

三 服裝及徽章

四 消防器械ノ種類員數

五 敷組ニ分ツ場ニ在テハ各組擔當方面ノ區別

六 進退賞罰ノ方法

七 消防手當支給ノ方法及金額

八 死傷者手當支給ノ方法及金額

九 頭取以下消防夫ノ住所氏名年齢

第五條 私設消防組ヲ編成セントスルモノハ費用支辨ノ方法及前條第一項乃至

第十類收稅

官廳出火又ハ官廳近火ト認メタル片之ヲ打ツ

三部内信号(二点) ○—○ ○—○ ○—○

其市町村内出火ト認メタル片之ヲ打ツ

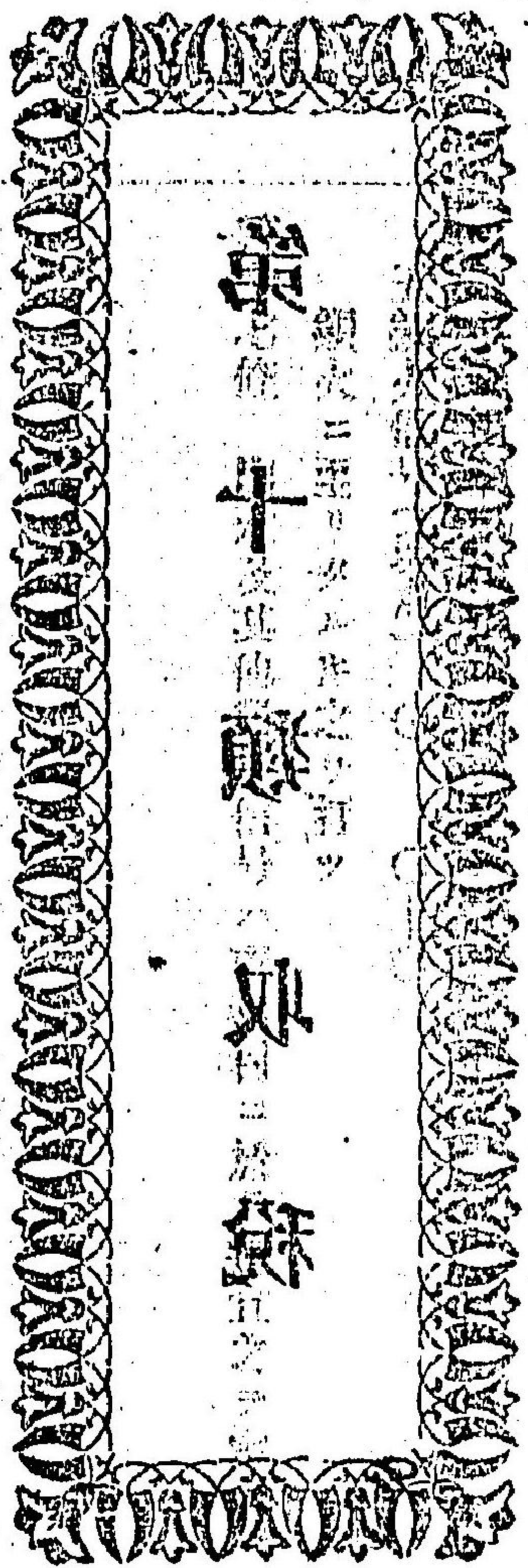
四部外信号(一点) ○○○○○

其市町村外出火ト認メタル片之ヲ打ツ

五鎖火信号(班点) ○—○

鎖火ニ至リタル片之ヲ打ツ

第十七條 出水及其他變災信号ハ市町村ニ於テ適宜之ヲ定ムベシ



第十類

明治十三年二月六日
縣令第三十七號
其詳如左
一、凡在本縣境內
二、凡在本縣境內
三、凡在本縣境內
四、凡在本縣境內

第十類

取稅

●諭達

明治十三年二月六日

人力車及荷積車檢印申受使用ノ義ハ明治八年太政官第二十七號布告及九年縣第百六拾九號并十一年縣甲第三十七號同縣甲第三十一号ヲ以テ及布達置候ニ付テハ無檢印ニシテ使用候者決シテ無之等且荷車ノ内耕作一途使用ノ免稅車ハ全ク肥糞ヲ積ミ耕地へ運搬候義ニテ物貨勿論假令肥糞ト雖モ賣買ノ爲メ他ニ運搬候義ハ不相成筋ニ候處若シ心得違ニテ万一犯則ノ處分ヲ受候モノ有之様ニテハ憫然ノ至ニ付右等不了解無之様可致此旨諭達候事

●縣甲第二百五十九号

明治十三年十二月九日

本年縣甲百十号布達左ノ通更正候條此旨布達候事

更正

國稅新規營業免許稅ハ鑑札抗區券面狀等申受ケタル時之レヲ納ムヘシ

●丙第十四号

明治十四年一月廿九日

客年九月第四十一號ヲ以テ醫翅營業稅則公布相成候次第モ有之營業人心得書別紙ノ通相定候此旨該營業人エ可相達候事

(別紙)

醫翅營業人心得書

第一條 製造場ハ倉庫ノ棟數ニ拘ハラス都テ其一區域ヲ以テ一箇所トシ免許鑑札ヲ願受クヘシ

第二條 免許鑑札ハ其年一期有効ノモノトス故ニ引續キ免許ヲ請フ者ハ最初願受ケタル鑑札ヲ差出シ其鑑札ノ裏面ヘ該期ノ免許証印左ノ離形ヲ受クヘシ

明治何年一期

細輪郭 角切 字体楷書 印肉朱

醫翅營業免許之証

寸法 堅巾曲尺壹寸四分 横巾曲尺四分

第三條 稅則第六條免許鑑札賣買讓與ノ節其書換方若シ甲乙兩郡區ニ交渉スル片ハ双方連署ノ書面ヘ免許鑑札ヲ添ヘ戶長ヲ經由シテ甲役所賣渡讓與人所在ノ役所願乙役所買受讓受人所在ノ役所ヘ添翰ヲ受ケ乙役所ヘ鑑札書換願出ヘシ

但製造場轉換ノ爲メ鑑札書換方モ本條ノ手續ニ據ルヘシ尤他管轄ニ交渉スルモノハ戶長并郡區長ヲ經由シ甲管轄ヘ願出添翰ヲ受乙管轄ニテ鑑札書換申受ヘシ

第四條 廢業ノ者ハ其届出ノ節免許鑑札ヲ返納スヘシ

第五條 稅則第八條戶外ニ掲出スヘキ標札ハ左ノ離形ニ倣ヒ調製スヘシ

寸法 堅巾曲尺三寸 横巾曲尺八寸

一 免許鑑札ノ番號

第何号

醫翅 賣 別所

何縣國郡町番邸

何區村 某

第六條 稅則第五條賣上帳簿ハ其記載ノ石數及購求者居所姓名等檢査官ノ檢印ヲ受ケ該帳簿ハ營業中之ヲ保存スヘシ

第七條 營業上取締ノ爲メ便宜ニ主任官出張之ヲ點檢スルヲアルヘシ

第八條 稅則第四條販賣見込ノ石數ハ每一期分毎年十月三十一日限届出ベシ

但本文届出ノ後其増減ハ其都度届出ベシ

第九條 販賣シタル石數ハ三ヶ月毎ニ取纏メ翌月五日限届出ベシ

●甲第三十六号

明治十五年二月十七日

開墾鐵下年季等願手續左ノ通相定候條此旨布達候事

但明治十三年甲第八十六号及甲第二百四号布達ハ相廢止候事

第一條

凡ソ山野ヲ開墾シ又ハ湖海池沼等ヲ埋堀シ耕地トナス場合ニ於テ鐵下年季ヲ請願セント欲スルモノハ實際ニ要スル所ノ費用ト成功ノ後該地ヨリ得ヘキ収利トヲ豫算シ左ノ項目ニ依リ取調書ヲ作り并地形明瞭ノ圖面相添願出ヘシ

第一項 開墾ノ反別但シ一筆ノ内幾分ヲ開墾スルモノハ其全反別ヲ肩替ニ願スヘシ

第二項 人夫ノ數及ヒ其賃錢

第三項 成功ノ上該地ヨリ得ヘキ収量及ヒ其収量ニ換ヘタル金額但此金額

ハ近傍市場既往三ヶ年若クハ五ヶ年間ノ平均相場ニ依ルヘシ

第二條

宅地ニ開拓スルモノハ固ヨリ鐵下年季ヲ附與スヘキモノニ非スト雖モ山岳ノ險岨巖石ヲ鑿平シ或ハ湖海池沼等ヲ埋堆シ宅地トナスカ如キ非常ノ勞費アルカ爲ニ素地ノ價格ニ依リ収稅ノ年季又ハ免稅年季ヲ請願セント欲スル片ハ前條ノ手續ニ依ルヘシ

第三條

期明ニ至リ全地又ハ幾部分未着手ノモノアリテ繼年季ヲ請願セント欲スル片ハ更ニ第一條ノ手續ニ依ルヘシ

第四條

山野池沼等ヲ耕宅地トナシ鐵下年季等ノ許可ヲ得タルモノハ其年季中ハ素地ノ價格ニ依リ収稅スルモノトス

第五條

鐵下及免稅年季中持主ノ便宜ニヨリ宅地トナスモノモ其年季中ハ鐵下地ニ据置クモノトス

○甲第三百三十八號

明治十五年六月廿三日

柳かけト唱へ清酒或ハ味淋銘酒等ヲ燒酎ト調和シ一種ノ酒ヲ製シ販賣スルモノ有之趣ニ相聞右ハ十三年九月第四拾號公布酒造稅則第一章第二條三類ニ適當ノモノニ付キ免許ヲ受ケ製造可致ハ勿論客年二月甲第三十二号布達ノ通可相心得此旨布達候事

○甲第四百十三號

明治十五年七月七日

清酒釀造四ツ掛ト唱へ添中留ト各掛米ノ後又蒸米糯米ヲ用ユ麴若干ヲ増掛ケ仕込タルモノ及清酒釀成立ノ上一仕舞ノ内幾分カ別桶等ニ汲出シ蒸米糯米ヲ用ユ麴若干ヲ増掛ケ成熟ヲ待チ搾立ルモノハ酒造稅則第一章第二條三類酒ヲ以テ課稅候條此旨布達候事

○乙第四号

明治十六年二月十九日

深津沼隈芦田郡ヲ除ケ品治安那神石

明治十二年(九月)縣乙第三十三号及ヒ同十三年(六月)縣乙第二十一号布達ヲ以テ新稅施行候ニ付假貫額ト差引未納ノ金員年賦延納ヲ許可シタル土地年賦延納規則左之通相定候條此旨布達候事

第一條

明治九年ヨリ同十一年迄三ヶ年新舊稅差引増額金ハ別紙第一号延納年限表ニ照シ每町村額ヲ以テ割合明治九十箇年分ハ十四年ヨリ同十一年分ハ十五年ヨリ起算上納スベシ

第二條

但町村内ニ於テノ權賦ハ地主ノ協議ニ任スベシ

第三條

年賦延納金ハ毎年度稅收納末期ニナイテ上納スベシ

年賦延納証書ハ別紙第二号書式ニ照準差出スヘシ

但後日荒地又ハ賣買等ニテ証書面ニ異動ヲ生スルモノハ更ニ証書ヲ作り引換テ乞フヘシ

第四條

年賦金ヲ一時ニ上納願出ルルハ翌年度分ヨリ年限數ニ應シ別紙第三号一割利引ノ算則ニ據リ其殘金ヲ徵收スルモノトス

第五條

延納年限内其土地或ハ幾分ヲ賣却セント欲スルルハ最前許可シタル年期ニ

拘ハラス其地所ニ係ル延納金額ハ地券書換出願ノ日ヲ以テ一時上納スヘシ
但本條ノ場合ニ於テハ第四條ノ算則ニ據リ一割利引殘金ヲ上納スヘシ

第六條

前條買得者ニ於テ其地ニ係ル延納金ヲ引受ケ年期ニ隨ヒ上納セント欲スルモ
ノハ別紙第四号書式ニ照準証書差出スヘシ

第七條

延納年限ノ未ダ終ラサル土地ハ生存者家督相續又ハ死亡者ノ遺産相續及遺囑
ノ贈遺等ニ由テ讓受タル分ハ第六條ノ例ニ準シ証書差出スヘシ
但讓渡ノ節第五條ノ例ニ準シ延納金一時上納ヲナスモ妨ケナシ

第八條

官用ノ爲メ地所ヲ買上又ハ用惡水路道路等潰地トナルトキハ其地ニ係ル延納
金ハ地券還納又ハ地券書換ノ日ヲ以テ一時ニ上納スベシ
但本條ノ場合ニ於テハ第五條但書ノ例ニ準スベシ

第九條

延納年限内該年ノ本租又ハ延納年賦ヲ不納シ或ハ他ノ負債ニ係リ身代限處分

等ニテ其地ヲ公賣スルコトアルハ延納年賦金ハ該年分ノ公賣代價ノ内ヨリ
徴収シ殘年賦金ハ買得者ヨリ年割ノ通徴収スルモノトス
但本條ノ場合ニ於テハ別紙第五号書式ニ照準証書差出スベシ

第十條

延納年限内ニ於テ天災ニ罹リ荒地トナリタルハ延納金ノ殘額ヲ書載棄捐ノ
義出願スベシ
但一町村ニシテ地主數名ノ片ハ連署出願スルモ妨ケナシ

(別紙)

第一号

延納割賦年限

三割未滿	五ヶ年賦
三割以上五割未滿	十ヶ年賦
五割以上一倍未滿	十五ヶ年賦
一倍以上二倍未滿	二十ヶ年賦
二倍以上三倍未滿	二十五ヶ年賦

地番地	目金	額	年賦年限數	一ヶ年常納額	末年同上	元年度
<p>三倍以上五倍未滿 三十ヶ年賦 五倍以上十倍未滿 三十五ヶ年賦 十倍以上二十倍未滿 四十ヶ年賦 二十倍以上三十倍未滿 四十五ヶ年賦 三十倍以上 五十ヶ年賦</p> <p>但一倍ト有之ハ増租額ヲ指シタルモノニテ舊ハ舊稅額壹圓ニシテ増租壹圓ナルヲ云フ則十倍ハ増租拾圓ヲ云フ</p> <p>第二号 (用紙大半紙) (此証書ハ相當印界紙ヲ用ユベシ) 未納地租金年賦延納証書 何郡區何町村 一金何程 此譯</p>						

右ハ明治九年ヨリ同十一年迄三ヶ年分改租増額金前書之通年賦延納御許可相成候ニ付御規則ノ通上納可仕候依之証書差上候処如件

何郡區何町村
 邱番 姓名 印
 戸長 姓名 印

廣島縣令姓名殿
 (二名以上ノ共有地ハ各人一同連署スベシ)

第三号
 一割利引千圓年率

一年 金九拾圓九拾錢九厘
 二年 金百三拾貳圓貳拾三錢壹厘
 三年 金百七拾壹圓四錢九厘
 四年 金貳百七圓五拾三錢四厘

五年	金貳百四拾壹圓八拾四錢三厘
六年	金貳百七拾四圓拾貳錢三厘
七年	金三百四圓五拾壹錢貳厘
八年	金三百三拾三圓拾三錢四厘
九年	金三百六拾圓拾錢八厘
十年	金三百八拾五圓五拾四錢三厘
十一年	金四百九圓五拾四錢
十二年	金四百三拾貳圓拾九錢貳厘
十三年	金四百五拾三圓五拾八錢八厘
十四年	金四百七拾三圓八拾錢八厘
十五年	金四百九拾二圓九拾二錢八厘
十六年	金五百拾壹圓壹錢八厘
十七年	金五百貳拾八圓拾四錢四厘
十八年	金五百四拾四圓三拾六錢六厘
十九年	金五百五拾九圓七拾四錢壹厘

二十年	金五百七拾四圓三拾貳錢貳厘
二十一年	金五百八拾八圓拾五錢七厘
二十二年	金六百壹圓貳拾九錢四厘
二十三年	金六百拾三圓七拾七錢三厘
二十四年	金六百貳拾五圓六拾三錢六厘
二十五年	金六百三拾六圓九拾壹錢八厘
二十六年	金六百四拾七圓六拾五錢六厘
二十七年	金六百五拾七圓八拾八錢壹厘
二十八年	金六百六拾七圓六拾貳錢三厘
二十九年	金六百七拾六圓九拾壹錢
三十年	金六百八拾五圓七拾七錢
三十一年	金六百九拾四圓貳拾貳錢五厘
三十二年	金七百貳圓三拾錢壹厘
三十三年	金七百拾圓壹錢七厘
三十四年	金七百拾七圓三拾九錢五厘

三十五年 金七百貳拾四圓四拾五錢參厘
 三十六年 金七百三拾壹圓貳拾錢八厘
 三十七年 金七百三拾七圓六拾七錢八厘
 三十八年 金七百四拾三圓八拾七錢八厘
 三十九年 金七百四拾九圓八拾貳錢貳厘
 四十年 金七百五拾五圓五拾貳錢四厘
 四十一年 金七百六拾圓九拾九錢七厘
 四十二年 金七百六拾六圓貳拾五錢貳厘
 四十三年 金七百七拾壹圓參拾錢貳厘
 四十四年 金七百七拾六圓拾五錢七厘
 四十五年 金七百八拾圓八拾貳錢六厘
 四十六年 金七百八拾五圓參拾貳錢
 四十七年 金七百八拾九圓六拾四錢六厘
 四十八年 金七百九拾三圓八拾壹錢四厘
 四十九年 金七百九拾七圓八拾三錢壹厘

五十年 金八百壹圓七拾錢四厘

但十ヶ年賦ノモノ暨ハ三ヶ年納濟錢七ヶ年分ヲ一時上納願出ルルハ殘金
 ヘ七ヶ年ノ率ヲ乘シ(四拾五入)厘位ニ止メ利引金高ヲ得右差引殘高ヲ以
 テ上納金ト定ムヘシ自餘之ニ準ス

第四號 (用紙大半紙)
 (此証書ハ相當印界紙ヲ用ユヘシ)
 未納地租金年賦延納証書 何郡區何町村
 一金何程 此譯 明治何年分迄上納濟
 殘金上段ノ通

地番地目	金額	年賦年限數	一ヶ年當納額	末年全上元	年度

右ハ明治九年ヨリ同十一年迄三ヶ年分改租増額金年賦延納之義何某ハ御許可相

成候処今般該地私買讓受候ニ付前書年賦金殘額引受御規則ニ隨ヒ上納可仕候依之
先ン持主連署証書差上申候處如件

年月日

何郡區何町村邸番

買受人 姓

名

印

同

賣渡人 姓

名

印

戶長 姓

名

印

縣令宛

第五號

(用紙大半紙)

(此証書ハ相當印界紙ヲ用ユベシ)

未納地租金年賦延納証書

何郡區何町村
明治何年分迄上納済

一金何程

殘金上段ノ通

此譯

地番地目金	額	年賦年限數	一ヶ年當納額	未年全上	元	年度
-------	---	-------	--------	------	---	----

右ハ明治九年ヨリ同十一年迄三ヶ年分改租増額金年賦延納之義何某へ御許可相
成候處(上納期限ヲ怠)或ハ(負債上身分限)ヲ以テ地所公賣處分相成私へ落札被
仰付候ニ付前書年賦金殘額御規則ニ隨ヒ上納可仕候依之証書差上申候處如件

何郡區何町村邸番

年月日

姓 名

名

印

戶長 姓

名

印

縣令宛

●縣甲第五十二号

明治十六年五月十四日

畦畔廢設ニ由テ反別ニ増減ヲ生セシ分ハ反別ノミ更正シ地價ハ明治十八年迄据
置ノ變明治十六年分ヨリ反別地價トモ年々訂正シ別紙離形ニ照準取調一月ヨリ
六月マテノ分ハ七月十五日限リ七月ヨリ十二月マテノ分ハ翌年一月十五日限リ

縣令宛

局長

何 誰 印

前書之通相違無之候也

明治何年 月 日

郡區長 姓 名 印

●乙第十二号

明治十六年五月廿九日

耕宅地鹽田林藪秣場等ノ地稅明治九年ヨリ全十一年迄仮貢額ト新稅ト比較過未納決算方ノ義ハ本年四月乙第八号ヲ以布達候處十二年分モ十一年分ニ引續キ之ヲ決算スヘシ過納金ハ別途下渡スヘク候條增額未納金ハ上納候義ト心得ヘシ
但納期ハ別段ノ布達ヲ以テ定ム

右布達候事

●告甲第百三十一号

明治十六年五月三十一日

酒精再溜酒精之義者專ラ醫藥用ニ供スル品類ニ付右製造者ニシテ製藥ニ供スルモノハ明治十三年九月第四十號及同十五年三月第十七號同年十二月第六十一号

公布酒造稅則ニ據リ出願許可ヲ得タル上尙同年同月縣甲第百八拾三号布達製藥免許願手續ニ據リ試驗出願許可ヲ得ルニアラザレハ發賣スルヲ得サル義ト心得ヘシ

右告示候事

●丙第百三拾三號

明治十六年七月二日

客年十二月第二拾七號ヲ以印紙類賣捌手續布達相成候就テハ右取扱方左ノ通可相心得此旨相達候

印紙類賣捌取扱心得

第一條 印界紙類ハ豫メ員數ヲ見積請求方申出ヘシ

第二條 賣捌看板ハ一種類毎ニ調査之ヲ下付スヘシ

第三條 印紙類賣捌ヲ許シタル片ハ別紙雛形ニ倣ヒ証書差出スヘシ

第四條 手續第一條ニ據リ賣捌人ヘ下付シタル印紙ノ内代金上納ノ分ハ受拂計算表中拂ノ部后金上納ノ次ニ
(恩典者渡代) 一書ヲ設ケ又殘ル印紙(納期ノ至ラサル者)

ハ差引殘ノ部后金未納ノ次ニ
(恩典者渡代) 一書ヲ設ケ記入スヘシ
(金未納ノ分) 一書ヲ設ケ記入スヘシ
但稅表ハ即金后金恩典者ノ別ヲ問ハス從前ノ式ニ從ヒ調整スヘシ

第五條 印紙類ハ當初下渡ノ際各種類毎ニ價格ノ異ルモノヲ區別シ其枚數ヲ三分シ其一分ニ該ル代價ヲ即納シ殘ル印紙ヲ四分シテ其代價ヲ手續第四條ノ期限ニ從ヒ四回(當ヘハ三月一日以後五月三十一日以前下付シタル者ハ其年五月八月十一月翌年二月ノ四回)ニ完納セシムヘシ

但下渡ノ印紙ヲ三分若シクハ四分シテ端數ヲ生シタルキハ四捨五入シテ枚位ニ止メ末期ニ於テ差引決算スヘシ

第六條 手續第七條ニ據リ返納セシ印紙中代金己納ノモノアルキハ左ノ區別ニ從ヒ其代金ヲ返付スヘシ但シ返納印紙ニ對スル手續料ハ其節之ヲ返納セシムヘシ

一代金納付ノ時日ト印紙返付セシ時日ト同年度ニ係ルモノハ租稅局出張所ヘ照會シ該年度收入金ノ内ヨリ返付シ而シテ稅表皆濟帳トモ其員數ヲ除却スヘシ

一代金納付ノ時日ト印紙返納セシ時日ト年度異ナルキハ別途還付ノ義其都度申出ヘシ尤モ稅表皆濟表凡除却ニ及ハス其返納印紙ハ受拂計算表ニ一書ヲ設ケテ元請ニ立ツヘシ

第七條 損傷汚染印紙返納ノ際上納セシ代價百分ノ五ハ雜收入ニ編入スヘシ

第八條 手續第八條ニ據リ損傷汚染印紙ノ返納ヲ許可シタルキハ(郡區)役所有高ノ内ヨリ之ヲ交換下付シ其返納印紙ハ半ケ年毎ニ取り纏メ引換ヲ請フヘシ

第九條 手續第四條印紙類代金ノ義ハ凡テ其徵収相當ノ年度ヘ組決算スヘシ

印紙類賣捌方御許可ニ付御請書

一 印紙類御渡相成候上ハ御規則第四條ニ據リ受取高三分ノ一ニ當ル代價ハ即納仕其餘ハ四期ニ上納仕ル可ク候

一 印紙類賣捌高ハ勿論賣捌ニ關スル諸帳簿ハ何時ニテモ御檢査ヲ受ケ可申候

一 印紙類ハ平常不取締無之様大切ニ取扱可申若シ水火盜難等ニ罹リ候凡其代

金ハ本人或ハ証人ヨリ一切引受辨納可仕候

但避ケ可カラサル事變ニ遭逢シタルキハ其事情ヲ具申シ御処分ヲ可奉仰

候

一 御規則第七條ノ場合ニ於テハ殘余ノ印紙及賣捌代金ハ期限ニ抱ハテス即時

完納シ賣捌看板モ其節返納可仕候

右ハ証人連署御受仕候也

年月日

國區町番邸

賣捌人

某

同

証人

某

右

戶長

某

郡區長宛

●丙第四百拾九号

明治十六年七月十四日

國稅各種稅帳及稅表ノ内更正其他新設ノ分別紙離形之通りニ候條左ノ年度ヨリ之レニ照準調製シ賣藥印紙稅表同印紙受拂計算表ハ每年期分翌月十日限り其他ハ從前ノ期限通り可差出此旨相達候事

酒造免許稅表

酒類造石稅表

鬮翅營業稅表

米商會所稅表

十五年度ヨリ更正

但十四年三期納ノ分ハ

此限ニアラス

十五年度後半期分ヨリ更正

株式取引所稅表

賣藥印紙稅表

賣藥印紙受拂計算表

(別紙離形ハ略ス)

備考 十七年七月丙第四百七拾貳號ヲ以テ賣藥印紙全受拂計算表廢止

●告第四百三十二號

明治十六年十一月廿二日

國稅檢査員へ自今左ノ印章ヲ携帯セシム

(印章略ス)

●丙第二百八十三号

明治十六年十二月二十五日

國稅金不納者処分中投票開札前定納願出候者ハ公賣入費并納スルニ於テハ願意聞届其完納セシ税金ハ別紙離形ニ照準上納可致此旨相達候事

明治何年分何(租歲入小)第何期又ハ前(后)半期分

納期何年何月何日限

高金百圓之内

金九拾圓

何月何日納済

一金拾圓

何郡何町

何之誰分

不納処分着手中何月何日完納ノ分
右現金何月何日何處國庫金取扱所へ相預ケ上納候也

何郡何長
何之誰分

印
証扱金國
印所取庫

●甲第百六拾號 明治十六年十二月廿八日

本年(三月)甲第二十一号ヲ以人民ヨリ差出ス願届ハ住所戸長ノ奥印ヲ受クヘキ
旨布達候處船舶ニ關スル願届ハ定繫場所在ノ町村戸長ノ奥印ヲモ受クヘシ

●乙第壹號 明治十七年一月十九日

明治十六年(二月)乙第四號布達第四條ニ據リ延納金一時上納願全第十條ニ依テ
荒地ニ係ル延納金棄捐願ハ郡區役所ヲ經由スヘシ并延納金証書面ニ異動ヲ生シ

候節引換及ヒ下ケ具方ハ郡區長へ申出ヘシ

右廣島沼田安藝佐伯山縣高田高宮賀茂豐田御調甲奴世羅三谿奴可三上三次惠蘇
ノ一區十六郡へ布達候事

●丙第二拾號 明治十七年一月廿九日

酢造營業者酢元ニ供スル爲メ酒類ヲ製造スル者取扱順序ノ義ハ酒類製造人取扱
順序ニ準據スヘシ此旨相達候事

●丁第四号 明治十七年二月十九日 深津沼隈芦田 品治安那神石郡ヲ除ク

明治十六年(二月)乙第四号布達改租増額年賦延納規則取扱順序左之通相定候條
此旨相達候事

但明治十六年丁第三号丁第十七号及ヒ本年丁第一号達ハ廢止ス

郡區役所取扱

第一條 延納年賦金納稅切符ハ元年度限り下附スヘシ

第二條 規則第四條ニ據リ延納金一時上納及第十條ニ據リ棄捐等納稅者ヨリ出
願スルハ延納証書ニ照合調査ノ上相達無之旨添書ヲ爲シ願書三通トモ當廳
へ差出スヘシ調査ノ上指令ノ際武通ヲ下附スヘキニ付一通ハ本人ニ下付シ一

通ハ郡區役所ニ留メ置納額更正スヘシ

第三條 規則第五條第八條ニ據リ延納金一時上納ノ節地券ニ添付セル仕譯書ハ延納証書ニ照合調査ノ上一通ハ租稅課ニ送附シ一通ハ郡區役所ニ留メ置納額更正スヘシ

第四條 渾テ延納金ヲ一時ニ徴収スルトキハ其金額ハ租稅局廣島出張所長ニ報告スヘシ

戸長役場取扱

第五條 延納額及ヒ年々収納スヘキ金額ヲ明記セル一筆限臺帖ヲ備置異動ヲ生セシ都度之ヲ更正スベシ

●丙第三拾九号

明治十七年二月二十日

酒造造石稅完納以前免許鑑札賣與讓與又ハ廢業或ハ諸器械ヲ酒造場外へ移轉等ノ事故ニ依リ該稅金一時完納ノ分國稅金領收順序第一離形納稅切符并ニ第五條離形上納証書へ左ノ通り記載スヘシ此旨相達候事

但月々現收入報告書へモ本文ニ準シ記載スヘシ

第一離形一行

明治何年分酒造造石稅(免許鑑札賣與讓與又ハ廢業或ハ諸器械ヲ酒造場外へ移轉)ニヨリ第何期一時納

第五離形但書

但何郡區(但何町村)明治何年分酒造造石稅(事故第一離形)ニヨリ第何期一時納

●丙第六拾四号

明治十七年三月十九日

今般第五号布告民事訴訟用印紙取扱之義ハ他ノ印紙全様相心得有請求及ヒ賣捌等ニ係ル事件ハ總テ當廳へ可申出此旨相達候事

●丙第六拾七號

明治十七年三月廿五日

客年(十二月)第四十二號ヲ以テ酢元ニ供スル酒類課稅ノ義布告相成候ニ付テハ免許鑑札へハ酢元用ノ三字ヲ冠シ而シテ酒造造石稅表ヲ始メ其他諸表ハ總テ他ノ酒類ノ表式ニ準シ表題中酢元用ノ三字ヲ冠シ各別表ニ調製期限通差出スヘシ此旨相達候事

●甲第四拾壹號

明治十七年四月五日

河海等ヲ埋立耕地ニ開墾シ鐵下年期ヲ要スルモノ及ヒ地租改正前鐵下年期附與ノ分期明ニ際シ尙繼年期ヲ要スルモノ素地ノ地價算出方ハ毛位ニテ四捨五入シ厘位ニ止ムヘシ

●甲第五十一号 明治十七年五月六日
旅人宿營業ノモノ烟草出賣人及ヒ賣藥行商人ヲ止宿セシムル并ハ其旨戸外ニ掲
示スベシ

●丙第百三十三号 明治十七年六月廿四日

酒造稅則醫藥營業稅則賣藥印紙稅則煙草稅則ニ關シ當廳國稅檢査員ニ於テ犯則
アリト認知若クハ思料シ其場所ニ立入証憑取認ノ處分ヲ爲ス并ハ其他ノ戸長又
ハ筆生隣估ノ内ヲシテ立會ハシメ候條此旨相達候事

●丙第百六拾四号 明治十七年七月十四日

國稅金收納順序全附錄別紙ノ通相定候條此旨相達候事

但明治十四年(九月)丙第百六拾七号全年(十月)丙第百九拾号百九拾五号明
治十六年(十一月)丙第百四拾三号二百四拾四号全年(十二月)租達第百廿
三号本年(五月)丙第九拾貳号達并明治十五年(十二月)丙第百六十号達中
皆濟帖ノ項ハ廢止ス

國稅金收納順序

第一條 國稅金ハ郡區長ニ於テ每納期其納額ヲ各町村納額元帖ニ登記シ納期限

地租ハ納期 十五日以前ニ左記第一號ノ如ク甲乙接續セル納稅切符ヲ製シ其納
初月ヨリ 金額及ヒ納期限ヲ該切符ヘ記入シ甲納稅切符ヘ一印ノ如ク郡區役所ノ印ヲ捺
シ且納額元帖金額ト割印シ之ヲ戸長ニ達スヘシ

第二條 戸長ハ郡區長ヨリ納稅切符ヲ得レバ其町村一人別帖ニ據リ租稅金ヲ徵
收シ第一號乙納稅切符ヘ二印ノ如ク調印シ之ニ徵收セル現金ヲ添ヘ國庫金取
扱所ヘ預ケ入ルヘシ

但納期限前ニ集リタル金額ハ第二號切符ヲ製シ何ケ度ニモ國庫金取扱所ヘ
相預ケ預リノ証印ヲ得其郡區役所ヘ上納シ期限ニ至リ第一號切符ヘ第
三號ノ如ク記載シ本文ノ順序ヲ爲スヘシ

第三條 國庫金取扱所ハ第一号乙納稅切符ヘ三印及ヒ四印ノ証印割印ヲ捺シテ
戸長ヘ渡スヘキニ付戸長ハ甲納稅切符ヘ五印ノ如ク調印シ郡區長ヘ上納スヘ
シ

第四條 郡區長ハ戸長ヨリ上納セル甲乙納稅切符金額ト納額元帖トヲ照査シ皆
納又ハ内納ノ金額ヲ元帳ヘ記入シ而シテ第一號甲納稅切符ヘ六印ノ如ク捺印
シタル后甲乙ヲ分截シ乙ハ郡區役所ニ留メ甲ハ戸長ニ付與シ以テ租稅皆納ノ

証トスヘシ
 但第二號納稅切符ヲ以テ納ムルモノハ其時々郡區長名印ノ領收証書ヲ付與スヘシ
 第五條 地券証印稅新規營業稅ノ類及ヒ其時々收入ノ諸稅等ニシテ甲乙接續切符ヲ用ヒ難キモノハ戶長ニ於テ一稅毎ニ第二號ノ如ク納稅切符ヲ製シ國庫金取扱所ヘ預ケ入其時々郡區長ヘ上納スヘシ
 但本人ヨリ直ニ郡區役所ヘ上納スルモノハ第二號納稅切符ヲ用ヒ本人ノ姓名ヲ記シ捺印スヘシ
 第六條 郡區長ハ第一條ノ納稅切符ヲ戶長ヘ達シタルハ三日以内ニ第四號ノ如ク納額調書ヲ製シ收稅長ヘ報告スヘシ尤其納額ニ増減ヲ生スルハ其時々之ヲ追報スヘシ
 但當廳ヨリ納額ヲ達スルモノハ此限ニアラス
 第七條 郡區長ハ一旬日間領收セル租稅金ヲ取纏メ三日以内ニ第五號ノ如ク上納証書ヲ製シ之ヲ收稅長ニ送付スヘシ
 第八條 收稅長ハ前條ノ上納証書ヲ得タル日ヨリ三日以内ニ第六號ノ如ク領收

証書ヲ製シ之ヲ郡區長ニ送附スルモノトス
 第九條 郡區長ハ第七號ノ如ク收納報告書ヲ製シ各租稅毎納期限后三十五日以内ニ收稅長ニ申報スヘシ
 但收納申報后増減ヲ生スルハ其時々之ヲ追報スヘシ
 第十條 郡區長ハ各租稅皆濟期限后三ヶ月酒造稅ハ以内ニ第七號ノ如ク皆濟報告書ヲ製シ收稅長ニ差出シ之ヲ決算ヲ爲スヘシ
 第十一條 收稅長ハ郡區長ヨリ差出ス處ノ皆濟報告書ヲ調査ノ上第八號ノ如ク決算証ヲ製シ之ヲ郡區長ニ送付シ租稅ノ決算ヲ証スルモノトス

第一號

- 一 是ハ最初戶長ヘ相送スルハ郡區役所元帖ト押切且割符ヲ証スル爲メ之ニ捺印ス即チ第一ノ手順ナリ
- 二 是ハ一(町村)ノ納金取束子國庫金取扱所ニ相渡スノ証ニシテ即チ第二ノ手順ナリ
- 三 是ハ戶長ヨリ稅金ヲ預リタル証印ニシテ即チ第三ノ手順ナリ
- 四 是ハ稅金預リタル時國庫金取扱所ノ元帖ニ押切モノニシテ即チ第四ノ手順ナリ
- 五 是ハ戶長ヨリ稅金上納ノ際証印スルモノニシテ即チ第五ノ手順ナリ
- 六 是ハ戶長ヨリ稅金上納濟ニ至リ(郡區)長領收ノ証印ニシテ即チ第六ノ手順ナリ

<p>甲</p> <p>明治何年度何租(小課目)第何期又ハ前(後)半期分 納期何年何月何日限</p> <p>郡區役所 印</p> <p>郡區長 何(郡區)何(町村) 戶長 何ノ誰 五印</p> <p>金何程 官印</p> <p>右可相納候也</p> <p>明治何年何月何日</p> <p>郡區役所 印</p>	<p>乙</p> <p>明治何年度何租(小課目)以下全上 納期何年何月何日限</p> <p>郡區長 何(町村)分 四印</p> <p>金何程 三印</p> <p>右現金何月何日何地國庫金取扱所ヘ相預ケ上納候也</p> <p>何(郡區)何(町村) 戶長 何ノ誰 二印</p> <p>明治何年何月何日</p>
---	---

第二号

用紙適宜寸法 竪四寸五分
横三寸三分

明治何年分

何租(小課目)第何期又ハ前(後)半期

何郡何町分
何區何村分

一金何程

㊦

第三号 (乙納稅切符)

國庫金取扱所預リノ証印

又ハ何郡何町
何ノ誰分

右現金何月何日何地國庫金取扱所へ相預ケ上納候也

何郡何町
戸長
何ノ誰

印
國庫金取
扱所預
リノ証
印

表

明治何年度何租 納期何年何月何日限 一金百圓	何郡 何町分 裏面ノ通納濟
------------------------------	---------------------

面

内 金九拾五圓
金五圓

右現金何月何日何地國庫金取扱所へ相預ケ上納候也

何月何日限

何郡何町
戸長
何ノ誰 印

年月日

金五拾圓	何月何日納
金貳拾圓	何日何日納
金貳拾五圓	何月何日納
小以金九拾五圓	

第四号

明治何年度

(用紙美濃梓紙)

(大科目限リ別紙ニ調製スヘシ)

納額調書

一金何程 何租(小科目)第何期
 一金何程 何租(前全) 第何期
 右納額申報候也 何租(前全)前(後)半期

年月日

郡長 姓名 印

廣島縣收稅長宛

第五号

用紙美濃梓野紙 (増減追報モ此式ニ準シ尤但書ニ其事由ヲ詳記スヘシ)
 (小科目限別紙ニ關製スヘシ)

第何號

一金何程此切符何葉

但明治何年度何(租稅)第何期或ハ前(後)半期稼續(新規)又ハ時々收入
 右納候也

月 日

郡長 姓名 印

廣島縣收稅長宛

第六号

花紋

第何号

(管轄番号)

第何号

(郡區上納証ノ番號)

一金何程

但明治何年度何租(小科目)第何期或ハ前(後)半期稼續(新規)
 又ハ時々收入

右領收候也

年月日

縣收稅長姓名印

郡長 宛

第七号

(用紙美濃紙野紙)

明治何年度

收納申報書

(大科目限リ別紙ニ調製スヘシ)

第何号

高金何程
一金何程

第何期又ハ前(后)半期
何租(大科目)

内金何程

何租(小科目)

金何程

何租(小科目)

外金何程

何租(小科目)

内

金何程

何租(小科目)

但何々事故詳細ニ付何年何月何日付官

損ノ義稟申ノ分

何租(小科目)

但何々事故詳細ニ付何年何月何日付々

一旦勘定除却ノ義稟申ノ分

金何程

右之通候也

年月日

區長姓名印

廣島縣収税長宛

第八号

(用紙美濃梓野紙)

高金何程
一金何程

何租(大科目)

内

何租(小科目)

金何程

何租(小科目)

金何程

何租(小科目)

内金何程

何年分年度后追納

金何程

何租(小科目)

以下準之

外金何程

官損勘定除却ノ分

内

何々(事故詳細記載)ニ付官損

何租(小科目)

何租(小科目)

何々(事故詳細記載)ニ付勘定除却

何租(小科目)

何租(小科目)

金何程

内金何程

金何程

内金何程

金何程

内金何程

右者何郡 區 明治何年度何租 皆濟書面ノ通候也

年月日

廣島縣収税長宛

第九号

龍紋

証 第何号

一金何程 ○主任檢印

右者何郡 區 明治何年度何租 大科目決算皆濟書面之通相違無
之候也

年月日

廣島縣収税長姓名印

郡長姓名殿

國税金収納順序附録

一 納税期限ニ至リ若シ租税金皆納シ能ハサル者アルキハ第一号納税ノ形ノ如ク戸長ニ於テ其納金額ノ傍ヘ現ニ徴収シタル金額ヲ内書ニシテ納金額ヲ外書ニナシ成規ノ手續ヲ經テ郡區役所へ上納シ且ツ其不納者ノ住所由チ詳記シテ郡區長ニ報告スヘシ
一 郡區長ハ前條ノ報告ヲ得テ先ツ其不納額ヲ第二号ノ如ク其不納額ヲ詳記シ

之レト第一雛形ノ甲切符ノ右側ニ(イ)ノ印ノ如ク割印シテ而シテ其徴収シタル金額ヲ納額之帳ニ記入シ其納稅切符ノ納金額ニ對シ領収ノ印証ヲ捺シ以下成規ノ手續ヲナスヘシ

一郡區長ハ納稅金官損又ハ未納ニ係ル分第三号ノ如ク大科目限リ調製シ該租稅納期限后三十五日以内ニ收稅長ニ報告スヘシ

但シ報告后ニ徴収スルコトアレハ其時々之レヲ追報スヘシ

一不納者ノ處分ヲ爲シ徴収シタル租稅金ハ郡區長ニ於テ第二雛形ノ如ク切符ヲ製シ其ノ金額ヲ國庫金取扱所ヘ相預ケ預リノ証印ヲ受ケ以下規則ノ手續ヲ以テ上納スヘシ此ノ場合ニ於テハ徴収シタル金額ヲ戶長ニ通報スヘシ

第一號

第一雛形

郡區役所 印

明治何年度何租稅(小科目)第何期又ハ前(后)半期分
 納期何年何月何日限 何郡何町何村

明治何年度何租稅(小科目)以下同上
 納期何年何月何日限

一金百圓

戶長 何ノ誰

內

金九拾圓

外

金拾圓

右可相納候也

郡區長 官印

何月何日

不納

年 月 日

郡區役所 印

一金百圓

何郡何町分

內

金九拾圓何月何日納

外

金拾圓 不納

右現金何月何日何處國庫金取扱所へ相預ケ上納候也

年 月 日

何郡何町 戶長 何ノ誰

印

第二雛形

明治何年度何租稅(小科目)第何期又ハ前后半期分
 納期何年何月何日限
 高金百圓之内
 金九拾圓
 金拾圓

何月何日納濟
 何(郡區)何(町村)

印

何月何日不納処分済追徴之分
 何之誰
 右現金何月何日何所國庫金取扱所へ相預ケ上納候也
 年月日
 何郡長
 何之誰
 印

第二号

明治何年

何税不納額帳

何郡

(郡限)

此帳簿ハ各租税納期ヲ過キ不納金額ヲ掲グルモノナリ
 公賣処分等ニテ不納金額ヲ追徴セシトキハ金員ノ傍へ何月何日処分済収入ト記
 スベシ
 若シ処分済ノ上不納金額ニ不足ヲ生セシハ丙書ニ徴収ノ員額ヲ掲ケ其下へ何

月何日処分済収入ト記入シ差引不足ノ金員ヲ傍へ掲ケ姓名事由等ヲ但書ニ詳記
 スヘシ

納税切符ト御印

何(郡區)何(町村)

何ノ

誰

一金何圓

但何々事由記載

何月何日処分中(或ハ濟)收入

第三号

(用紙美濃枡野紙)

明治何年度分

一金何程

何租(小科目)第何期

是ハ何々(事故詳細記載)ニ付成規ノ通り處分候處代價不納金額ニ充タス
 又ハ買受望人ナク又ハ公賣代價不相當ニシテ不納金額ニ充タサルニ付該

財産官没或ハ官損可相成分

一金何程

何租(小科目)前後半期又ハ

是ハ何々(前同)ニ付成規ノ通處分候處賦課ノ財産無之官損可相成分

一金何程

何租(小科目)前後半期又ハ

是ハ何々(前同)ニ付一旦勘定除却可相成分

合金何程

右之通候也

年月日

郡區長姓名印

廣島縣收稅長宛

●丙第百六拾五号

明治十七年七月十四日

鳥獸獵兎狀ヲ受ケタル者其期限中改姓名又ハ管内甲地ヨリ乙地へ轉住スルルハ免狀書換手數料取立ルニ及ハス本人所持ノ免狀姓名及住所ノミ書改メ主任者檢印下付候義ト可相心得此旨相違候事

但本文ニ抵觸スル從前ノ達指令ハ取消候事

●丙第百八拾八號

明治十七年八月十九日

租稅豫算決算調理順序別冊之通相定候此旨相違候事

但シ明治十五年(五月)丙第百六十三號本縣達ハ廢止ス

租稅豫算調理順序

第一條 郡區長ハ租稅豫算明細書及決算報告書ヲ調理シ縣令ニ上達スルモノト

ヌ

第二條 租稅豫算ハ勉テ實收入額ト大差ナカラシムルニアリ別紙第一号ヨリ第三号ニ至ル書式ノ如ク豫算明細書豫算仕譯表豫算郡區表ヲ調理シ前年八月三十一日迄ニ其應ヲ發スルモノトス

第一項 地租ハ前々年度ノ租額地券証印稅ハ前々年度ノ稅額ヲ基礎トナシ將來ノ景況ヲ配量シ延納年賦ハ其收入スヘキ員額ヲ見積リ豫算ヲ立ツ

第二項 諸營業稅其他船車稅牛馬賣買免許稅銃獵稅酒造免許稅自家用料酒鑑札料及其他ノ鑑札料ハ前々年度ノ稅額ヲ基礎トナシ將來ノ景況ヲ配量シテ豫算ヲ立ツヘシ

第三項 酒類造石稅ハ前々年度皆造期限迄ニ係ル種類石數ヲ格別ニ調査シ稅額ヲ算出シ諸印紙稅訴訟用紙料及ヒ手形用紙稅銀行稅米商會所稅株式取引所稅及ヒ中買人稅版權免許料海外旅券其他免許手數料ハ前々年度ノ稅額ヲ基礎トナシ以下豫算ヲ立ルハ前項ニ同シ

第三條 豫算ノ増減ハ其種目及事由ヲ詳カニシテ三ヶ月分取纏ノ別紙第四號第五號書式ノ如ク豫算増減報告表豫算増減郡區仕譯表ヲ調理シ翌月五日限リ其

應ヲ發スルモノトス

第四條 税目ノ興廢又ハ税率ノ變更ニ依リ返變動ヲ生シタルハ其種目及ヒ事
由ヲ詳カニシ前條ノ如ク之レヲ調製シ該公布到達后十五日以内ニ其應ヲ發ス
ルモノトス

第五條 本年度ニ於テ官損若シクハ勘定除却シタル種目及ヒ事山ヲ詳カニシ各
税皆濟期限ニ至リ減額ノ報告ヲナシ其勘定除却ニ係ル分ハ翌年度ノ豫算へ増
額ヲ報告スヘシ但其増減報告書及乙郡區仕譯表ハ別紙第四号第五号ノ書式據
ルモノトス

第六條 租税決算ハ本年ノ豫算各科目ニ對シ實收入額ノ過不及ヲ調査シ其種目
及ヒ事山ヲ詳ニシ別紙第六號第七号書式ノ如ク決算報告書決算郡區表ヲ調製
シ各税ノ皆濟期限ノ后チ八ヶ月以内ニ其應ヲ發スルモノトス

第七條 前條決算報告書ハ大科目ニ於テハ多額ノ増減ヲ生セシ者ハ一項毎ニ其
金員及事由ヲ詳記シ僅少ノ増減ハ其金員ヲ合算シ事由ヲ併記スルモ妨ケナシ
小科目ニ於テハ金員ノ多寡事故ノ細大ニ拘ハラス一項毎ニ分配スルモノトス
(別冊ハ略ス)

●丙第二百六号

明治十七年九月五日

國税ニ係ル各種税表并ニ税金ノ他附屬諸表ハ収税長宛ト更正ス此旨相達候事

●甲第百五十三号

明治十七年十月三十一日

本年第七号ヲ以テ地租條例布告相成候ニ付テハ地主心得書別冊ノ通相定ム
但從前ノ布達ニシテ本文心得書ニ抵觸スルモノハ總テ廢止ス
(別紙ハ略ス)

●甲第百五拾四号

明治十七年十月三十一日

代米納ケ所左ノ通相定ム

- 一 廣島納メ
廣島區安藝郡沼田郡高宮郡山縣郡
佐伯郡高田郡三次郡三谿郡奴可郡
- 一 賀茂郡下市村納メ
三上郡惠蘇郡賀茂郡ノ内志和組
賀茂郡志和組ヲ除ク各村
- 一 豐田郡忠海村納メ
豐田郡
- 一 御調郡尾道町納メ
御調郡世羅郡甲奴郡
- 一 深津郡福山納メ
深津郡沼隈郡安那郡芦田郡品治郡神石郡

●丙第二百四拾八號

明治十七年十月廿四日

本年十月丙第二百三十九号本縣達ヲ以テ國税金収納順序ニ属スル郡區役所及戸長帖簿式相定候就テハ現在本年度帖簿ニ合計ヲ附シ之ヲ新帖ニ轉寫シ且該事由ヲ摘記シ舊帳ハ其儘保存シ置クヘシ此旨相達候事

●丙第二百八拾號

明治十七年十一月廿六日

本年(十一月)本縣甲第百六拾七號ヲ以テ身代限又ハ税金不納ニヨリ公賣處分ノ際所持ノ諸印紙買上ケ方等布達候ニ付テハ其ノ買上ケ代金ハ仕譯書ヲ添へ別途請求シ該印紙類ハ受拂計算表ノ元受ケニ組入ヘシ此旨相達候事

●丙第二百九十九號

明治十七年十二月十三日

國税金収納順序第一條ニヨリ納稅切符ヲ發セシ后子代米納又ハ預ケ米有之町村ハ同順序附錄第一號第一離形ニヨリ(外金若干代米納又ハ預リ米願濟ノ分)ト記シ上納スヘシ若シ預ケ米ニシテ該納期后上納ノ分ハ同号第二離形ニヨリ其腹書ニ何月何日預ケ米賣却ニ付徵収ノ分ト記シ上納スヘシ此旨相達候事

但明治十六年(十二月)丙第二百七拾壹號本縣達ハ廢止ス

●丙第三百貳號

明治十七年十二月十五日

地租金代米納領収順序左ノ通相定メ候條此旨相達候事

但シ明治十六年十二月丙第二百六拾九號本縣達ハ廢止ス

地租金代米納領収順序

第一條 代米納ハ町村納人各自若シクハ一町村納人惣代ヲシテ其定タル港へ便宜輸送セシメ戸長ハ該港ニ之レヲ取り纏メ其ノ郡區役所ヨリ出張スル吏員へ相渡シ郡區吏員ハ之レヲ檢査シテ其海出張ノ大藏省納米受取方へ交付シ戸長ハ其ノ預リ切符ヲ以テ郡區長へ納メ郡區長ハ其ノ預リ切符ヲ以テ収稅長へ宛テ送付スヘシ

第二條 郡區役所ノ吏員ハ納米輸送ノ時機ヲ計リ檢査ス可キ港へ出張シ明治五年八月太政官第二百三十一号達ニヨリ納米ノ檢査及ヒ受授ノ順序ヲ処辨セシムルモノトス

但シ檢査及受授ノ順序ハ納人及ヒ戸長郡區吏員大藏省納米受取方各立會之ヲ爲スヘシ

第三條 郡區長ハ第一号ノ通り甲乙接續セル納米切符ヲ製シ該米納方期限前邁ク凡三十日以前各町村納額之帖ニヨリ其ノ納米額及ヒ納期限ヲ甲乙納米切符

へ記入シ第一号甲納米切符へ一印ノ如ク郡區役所ノ印ヲ捺シ尙ホ元帖ノ米額ト割印ヲ捺シ之ヲ戸長ニ達スヘシ

第四條 郡區長ハ前條ノ如ク戸長へ納米切符ヲ達シタル后子遅クトモ三日以前ニ其ノ納米額ヲ第二号ノ通り調製シ之ヲ収税長へ報告スヘシ

第五條 戸長ハ納米切符ヲ得テ其ノ町村一人別帖ニヨリ納米者ニ達シ納米額ヲ輸送セシメ而シテ該米受渡ノ節第一号乙納米切符へ二印ノ如ク調印シ其ノ納米ト共ニ郡區吏員へ相渡郡區吏員ハ該切符へ第三号ノ通り検査證ヲ添付シ之レヲ港出張ノ大藏省納米受取方へ差出スヘシ

第六條 前條大藏省納米受取方米額ヲ受ケ取リタルマテ證スルタメ第一号乙切符納米ノ下へ三印ノ如ク証印ヲ捺シ尙ホ受取元帳ニ其ノ金米額ヲ記シ之レト四印ノ如ク割印ヲ捺シ郡區吏員ヲ經テ之ヲ戸長へ相渡スヘシ

第七條 戸長ハ第一号甲切符へ五印ノ如ク調印シ郡區役所へ上納スヘシ

第八條 郡區長ハ各戸長ヨリ上納セル甲乙納米切符ノ米額ト納米元帳ト照査シ其ノ甲切符へ六印ノ如ク領収ノ証印ヲ捺シ尙ホ七印ノ如ク甲乙切符接續ノ中央へ印ヲ捺シ而シテ甲乙ヲ分截シ乙ハ郡區役所ニ留メ置キ甲ハ戸長ニ付與シ

以テ代米納濟ノ證憑トナスヘシ

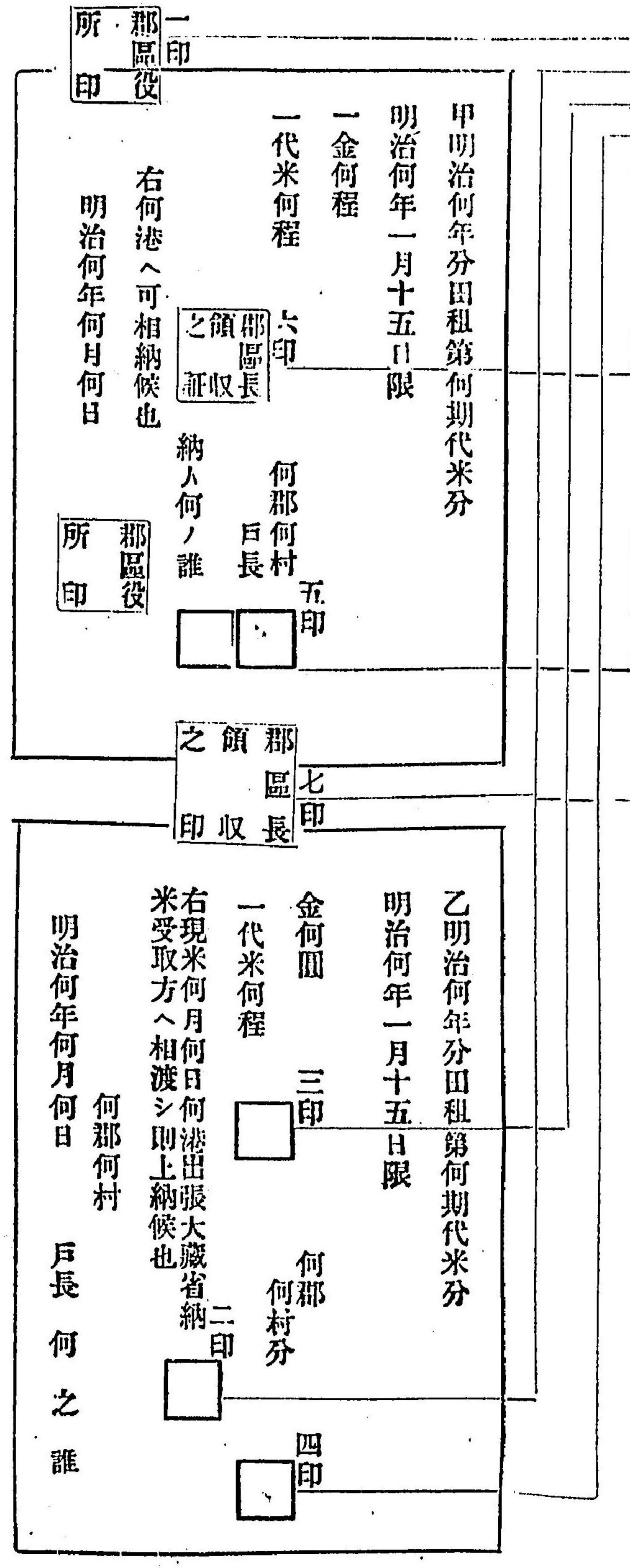
第九條 郡區長ハ其ノ留メ置キタル納米切符ヲ一旬日毎ニ取り纏メ遅クトモ三日以内ニ第四號ノ通り納税ノ證書ヲ製シ捺印ノ上之ヲ収税長へ宛テ送付スヘシ

第十條 収税長ハ納税切符ヲ受取リタル日ヨリ遅クトモ三日以内ニ第五號ノ通り領收證書ニ捺印ノ上郡區長へ送付ス可シ

第十一條 郡區長ハ代米皆納ニ至ラハ其年金米額ヲ収税長ニ報告ス可シ

第一號

- 一 是ハ最初戸長へ相達スル并郡區役所元帖ト押切且米金額ヲ証スル爲メ捺印ス即チ第一ノ手順ナリ
- 二 是ハ一村ノ納米取束子湊出張ノ郡區吏員ニ相渡スノ証ニシテ即チ第二ノ手順ナリ
- 三 是ハ出張ノ大藏省納米受取方戸長ヨリ納米受取タル証印ニシテ即チ第三ノ手順ナリ
- 四 是ハ納米受取タル并出張ノ大藏省納米受取方ノ原簿ニ押切モノニシテ即チ第四ノ手順ナリ
- 五 是ハ戸長ヨリ代米渡濟郡區役所へ上納ノ際証印スルモノニシテ即チ第五ノ手順ナリ
- 六 是ハ戸長ヨリ代米上納濟ニ至リ郡區役所領収ノ証印ニシテ即チ第六ノ手順ナリ
- 七 是ハ戸長ヨリ代米上納濟ニ至リ土納証ト領収証ノ押切ニシテ即チ第七ノ手順ナリ



郡區役所印

郡區長印

何郡何村印

郡區長印

何郡何村印

何郡何村印

何郡何村印

何郡何村印

郡區役所印

何郡何村

戸長

何之誰

甲 明治何年分田租第何期代米分
一金何程
一代米何程

乙 明治何年分田租第何期代米分
金何圓
一代米何程

右何港へ可相納候也
明治何年何月何日

右現米何月何日何港出張大藏省納米受取方へ相渡シ則上納候也
明治何年何月何日

以テ代米納解ノ證憑トナスヘシ

●甲第七拾九号

明治十七年十二月十九日

畦畔廢設ニ係ル地租收除ノ義ハ明治十六年迄ノ分ハ全年分ニ於テ全年分收除シ
全十七年ヨリ除却ニ係ルモノハ翌月分ヨリ收税シ新設ニ係ルモノハ其設置ノ月
分ヨリ除税ス

●右布達候事

●丙第五號

明治十八年一月七日

明治十七年(十月)丙第二百四拾四號本縣達ヲ以テ船舶ニ關スル件特任候ニ付キ右取扱手續別紙ノ通可心得此旨相達候事

船舶取扱手續

第一條 船舶ハ明治十六年四月第十三號布告並明治十七年(四月)第十號布告同年(四月)第十號太政官布達ニ依ルヘシト雖モ仍ホ左ノ條件ニ依リ取扱ヲナスモノトス

第二條 西洋形蒸氣並日本形積石五拾石以上ノ船艦札ハ第一號離形ノ通日本形風帆積石五拾石未滿ノ船並野漁船小廻船遊船ノ艦札ハ第二號離形ノ通調製下附スヘシ

但假艦札ハ離形艦札ノ上ヘ仮ノ字ヲ記入スヘシ

第三條 噸數ハ壹噸積石數ハ壹石間數ハ壹間ニ止メ其以下端數ハ切捨ツヘシ

第四條 船稅規則第十七條但假艦札釘付ノ箇所及ヒ同第十條免稅印烙記ノ箇所ハ該船舶ノ艦外部後面ニ之ヲ爲スヘシ

但免稅印烙印ハ別紙第三號離形ノ如ク調製スヘシ

第五條 船稅規則第三條ニ據リ假艦札ヲ付與シタル片ハ其旨定繫場所在ノ府縣

若シクハ郡區役所ニ通知スヘシ其通知ヲ受ケタル片ハ直ニ其他ノ船籍ニ編入シ該期ノ税金ヲ收入シ追テ本艦札ト引換相渡シタル上最前通知ノ府縣若クハ郡區役所ヘ報道スヘシ

但免稅船ハ別紙第四號書式ニ依リ販航証ヲ付與シ定繫場所在ノ府縣若ク

ハ郡區役所ヘ通報ヲ受ケタル片ハ船籍ヘ編入ノ上ハ最前通知ノ府縣若クハ郡區役所ヘ報道シ引揚ケタル証書ハ第七條ノ但書ニ準シ取扱フヘシ

第六條 船舶買賣讓與其他ニテ定繫場ヲ變換シ其新舊定繫場所在ノ郡區役所ニチイテ其他ノ船籍ヘ編入艦札引換下付シ直ニ其旨舊定繫場所在ノ郡區役所ヘ報道スヘシ其報道ヲ受ケタル片ハ船籍ヲ除却スヘシ

第七條 第二條ノ手續ニ依リ艦札引換ノ節該船ハ明治拾七年第十号布告ニヨリ測度改正ノ濟否ヲ調査シ其未濟ノモノハ改測シ既ニ檢査濟ノモノハ檢査ヲ要セス舊艦札若クハ假艦札ニ記載ノ噸石數又ハ間數等ニ據ルヘシ

但其返納セシ舊艦札假艦札ハ不取締無之様消却シ最前下付シタル管廳ヘ返戻ニ及ハス

第八條 在來ノ船舶明治十七年第十號布告ニ依リ測度更正シ其ノ増減ヲ生シタ

ル片ハ更正ノ片ヨリ鑑札届更正シ其次期ヨリ更正ニ係ル税金ヲ徴収スヘシ
 第九條 船舶ノ内其船体ノ構造若クハ網具ノ装置等西洋形ニ模擬セシモノハ総
 テ西洋形船ニ準シ課税スヘシ
 第十條 西洋形^{蒸氣}帆船ハ港灣湖川等運用スル小船ト雖モ總テ其噸數ニ依リ解漁
 船小廻船ハ積石五拾石以上ト雖モ總テ其間數ニ依リ課税スルモノトス
 但シ西洋形船ニシテ壹噸未満ノモノハ總テ壹噸トナシ課税スルモノトス
 第十一條 船税表及免稅船員數表ハ別紙第五號第六號ノ雛形ニ倣ヒ每半年分調
 製翌期七月十五日限リ該地差立差出スヘシ

第一號雛形

海岸又ハ何河(湖)岸ト書スルモノハ郡區ノ下町村ヲ記スヘシ第二號雛
 形亦タ同シ

木札寸法曲尺堅五寸巾三寸厚サ及本品適宜 日本形船何石積日本形船ト記ス

表	第何號	何國何郡
		何區
		何港
		定發場海岸

面	裏	面
第二號雛形	<p>廣島縣</p> <p>廣島縣 廣島印</p> <p>明治何年何月何日</p> <p>烙印</p>	<p>船鑑札</p> <p>何河(湖)岸</p> <p>何噸積西洋形^{蒸氣}帆船</p> <p>何國何郡何町何番邸</p> <p>何區何村</p> <p>誰</p>
	鑑札下付ノ年月日第二號雛形亦同シ	

<p>木札寸法其他第一号ニ同シ</p>	
<p>第何号</p>	<p>船鑑札</p>
<p>何國何郡 何港</p>	<p>廣島 縣印</p>
<p>定繫場海岸 何河(湖)岸 舳梁ヨリ 舳梁迄 何間 何船</p>	<p>何國何郡何町何番邸 何村何番邸 何ノ誰</p>
<p>白木</p>	<p>烙印</p>

解漁船又ハ小廻船遊船ト記ス但日本形積石五拾石未滿ノ船ハ小廻船ト記スベシ
一間未滿ノ船ハ一間未滿ト記入スヘシ

<p>第三號離形</p>	<p>免稅</p>
<p>第四號離形 第何號 版航証</p>	<p>何府縣何國何郡何町何番地 何村何番地 持主 姓名</p>
<p>一何船長何間何艘</p>	<p>但定繫場何府縣何國何郡何町何港 右ハ當縣下何國何郡何(町)村ニ於テ新規造船候處規則第十條ニ適スルモノニ付 鑑札ヲ付與セス版航差許スモノ也</p>

廣島縣印

年 月 日
(備考十九年二月丙第四拾號ニテ船稅表改正ニ付省ク)

明治何年 從何月 至何月 免稅船員數表

郡區名	種目		ハツテ一ラ 并傳馬船	渡 船	計
	田	船			
何 區	何	艘	何	艘	何 拾 艘
何 郡	、	、	、	、	、
合 計	、	、	、	、	、

右者明治何年 從何月 至何月 免稅船表面之通相違無之候也

年 月 日

何 區 郡 長 印

廣島縣收稅長宛

●丁第八号

明治十八年三月廿一日

昨十七年第十号公布ニ基キ船舶積量測度ノ上船免狀授與之義申出候節ハ別紙西洋形船測度表離形ニ據リ噸數算出方詳細記載ノ測度表添付致スヘク此旨相違候事

●丙第四百三號

明治十八年四月廿七日

地所建物船舶書入質入賣買讓與公証并ニ國稅收納地方稅備荒公儲金收入區町村費徵収ノ諸帳簿割印寸法等從來區々相成候処自今別紙離形之通調製右割印ニ限リ使用スヘシ此旨相違候事

(別紙)

九步

五 何郡(區)何町村

步 戶 長 役 場

但町村數多クシテ列掲シ難ケレハ役場所在ノ町村名若クハ其管内中重ナル町村名ヲ掲ケ何町村外何ヶ町村戶長役場ト記スベシ

●丙第四百四拾四號

明治十八年四月廿七日

酒稅取扱手續別紙之通相定候條此旨相違候事

酒稅特約取扱手續

第一條 左ニ掲グル者ハ郡區長ニ於テ特約証ヲ徵スルモノトス

一期額又ハ新ニ酒造營業ヲナスモノ及鑑札ヲ買ヒ受ケ又ハ讓受及家督相續ニ依リ鑑札ノ書換ヲ出願スルモノニシテ身元薄弱ナルカ若クハ素行ノ如何ニ依リ納税上懸念アルモノ

二 酒造許可ノ后身元薄弱ナリシモノ

三 酒造許可ノ后酒類ヲ低價ニ賣却シ其他種々ノ方法ヲ施シ逋税ヲ謀ラントスルモノ

四 前數項ノ外臨機収税及又ハ郡區長ニ於テ特約ヲ出サシムルヲ要用ナリト思料セシ者

第二條 特約証ハ左ノ三種ニ區別ス其書式ハ別紙ノ如シ

一 抵當ヲ書入レスシテ保証人ヨリ差出スモノ

二 本人ニ於テ土地家屋ヲ抵當ト爲シ保証人ヲ立テ差出ス者

三 保証人ニ於テ土地家屋ヲ抵當ト爲シ保証人ヨリ差出ス者

第三條 前條ノ第一項ハ港石税額二倍以上ニ相當スヘキ資産ヲ有シ品行方正ナルモノ保証人トナル場合ニ限り之ヲ適用スヘシ

但保証人ノ財産減少シタル爲メ保証人ノ資格ニ適セサルモノト収税官又ハ郡區長ニ於テ思料スルハ更ニ前條ノ第二項又ハ第三項ニ依リ特約証ヲ徵スルモノトス

第四條 収税官ニ於テ特約証ヲ徵スルヲ要用ナリト思料スルハ其事由ヲ詳記シ郡區長ニ之ヲ通報セシム

第五條 戶長ニ於テ特約証ヲ徵スルヲ要用ト思料スルハ其事由ヲ詳具シ期續又ハ新ニ酒造營業ヲ爲シ若クハ鑑札買受讓受家督相續ノ爲メ鑑札書替ヲ出願スル場合ニ在テハ縣令ニ副仲シ其他ノ場合ニ在テハ郡區長ヘ通報スヘシ

第六條 郡區長ニ於テ特約証ヲ徵セシハ直ニ収税長ヘ通報スヘシ但酒類封緘中ニ係ルモノハ収税課派出所主幹ヘモ通報スヘシ

第七條 特約証ヲ出シタル者納税ヲ怠リタルハ其保証之如何ニ拘ラス總テ先ツ明治十年第七拾九号布告ニ從ヒ公賣ノ処分ヲ執行スルモノトス

第八條 前條ノ処分ヲ爲シ若買受人無之場合ニ於テハ其財産ヲ評價シタル后之ヲ沒收スルモノトス

但評價ハ郡區長ニ於テ之ヲ撰ミ本人ノ承諾書ヲ取置クモノトス

第九條 第七條ニ依リ財産ヲ公賣シ若クハ沒收スルモ其價額尙ホ稅額ニ充タサルハ左ノ區別ニ依リ處分スヘシ

- 一 第二條第一項ノ特約証アルモノハ保証人ニ係リ訟求スルモノトス
 - 二 第二條二項ノ特約証アル者ハ直ニ其抵當物ヲ公賣シ尙ホ本人身代限ヲ訟求シ然ル后保証人ニ及ホスモノトス
 - 三 第二條第三項ノ特約アルモノハ其抵當物ヲ公賣シ尙ホ保証人ノ身代限ヲ訟求スルモノトス
 - 四 此手續發行前徵シタル特約証アルモノハ前第一項ニ據ルモノトス
- 第十條 既ニ特約ヲナシタルモノト雖モ其保証人行爲ノ如何ニ依リテハ更ニ第二條ニヨリ特約証ヲ出サシムルコトアルヘシ
- (第二條第一項ニ相當スル文例)

納稅保證書

何國何郡何町何番屋敷
酒造營業人 何ノ誰

右ノ者備納期ニ徵稅金上納ヲ怠リ候得ハ保証人ニ於テ直ニ本人ニ成リ換リ代納

仕候仍テ爲后日保證如件

年 月 日
何國何郡何町何番屋敷
保証人 何ノ誰

何郡區長何ノ誰殿
(第二條第二項ニ相當スル文例)

地所建家書入并保約書

何國何郡何町何番屋敷

何國郡區町村何番地何番地何番地ヨリ何番地マテ 酒造營業人

一 田畑宅地 合反別何程 持主 何ノ誰

此券面地價何程

何國郡區町村番地

持主 同 人

一 建坪何程

繪圖面添

右ハ酒造稅上納ノ爲メ書面ノ地所建家第一號ノ抵當トシテ差出シ置キ候ニ付キテハ若納稅期日ニ至稅金上納相滯候節ハ書面ノ地所建家郡役所ニ於テ直ニ御公

賣ノ上御取立相成候其各自ニ於テ異議無之若御公賣ノ上税金不足相立候節ハ保証人ニ於テ代納可仕候仍テ爲后日抵當書入及保証書如件

何國何郡何町何番屋敷	何	誰
酒造營業人	何	誰
何國何郡何町何番屋敷	何	誰
保証人	何	誰

何郡長何ノ誰殿

(此証書ニハ戸長ノ公証ヲ要ス若シ建家他人ノ所有地

ニアルモノハ地主ノ與書ヲモ要スルモノトス)

(第二條第三項ニ相當スル文例)

地所建家書入并保約証

何國何郡何番地何番地ヨリ何番地マテ 何國何郡何町何番屋敷

一田畑宅地 合反別何程 持主 何ノ誰

此券面地價何程

何國何郡何番地

持主 全 人

一建坪

右ハ何國何郡何町何番屋敷酒造營業人何ノ誰酒稅上納ノ爲メ保証人某所有地所建家第一号ノ抵當トシテ差出シ置キ候ニ付テハ納期ニ至本人ニ於テ税金上納相滞候節ハ書面ノ地所建家御役所ニ於テ直ニ御公賣相成候共決テ異議無之候若シ御公賣ノ上税金不足相立候節ハ保証人ニ於テ本人ニ成換リ代納可仕候依テ爲后日抵當書入及保証書如件

何國何郡何町何番屋敷	何	誰
酒造營業人	何	誰
何國何郡何町何番屋敷	何	誰
保証人	何	誰

何郡長何ノ誰殿

(此証書ニハ戸長ノ公証ヲ要ス若建家他人ノ所有地内ニアルモノハ地主ノ與書ヲモ要スルモノトス)

●丙第百九拾号

明治十八年六月十一日

本年五月第拾壹号布告菓子稅則來ル七月一日ヨリ施行相成候ニ付テハ右稅則取

扱方別紙ノ通心得ベシ此旨相達候事

菓子税則取扱心得書

第一條 營業免許鑑札用紙ハ豫メ授與スヘキ員數ヲ見積リ收税長ニ宛テ之ヲ請求スヘシ

第二條 免許鑑札面ノ記載方ハ第一號雛形ニ倣フヘシ

第三條 菓子仕入鑑札出賣鑑札ハ第二號雛形ニ倣ヒ郡區役所ニ於テ調製シ下渡スヘシ

第四條 免許鑑札臺帳ハ第三號雛形ニ倣ヒ調製シ郡區役所ニ備置スヘシ

第五條 規則第五條ニ依リ鑑札ノ再渡若クハ再換ヲ爲スカ或ハ税則第六條ノ廢業ヲ届出ツルキハ臺帳ニ其事由ヲ記入シ又臺帳記載ノ廢ニ變更アルキハ之ヲ訂正シ主任官檢印スヘシ

第六條 露店又ハ出賣專業ノ者ニハ出賣鑑札ヲ下附スルノ限リニ在ラズ

第七條 左ノ諸項ニ該ル者ハ免許鑑札ヲ下附スルノ限リニ在ラズ

一 航行中船内ニ於テ船客ニ販賣スルモノ

一 料理屋又ハ旅籠屋茶店等ニ於テ茶菓子トシテ來客ニ出スモノ

第八條 營業者ニシテ他郡區ニ移轉スル者ハ左ノ諸項ヲ記シタル添翰ヲ造リ之

ヲ下渡シ移轉先ノ郡區役所ハ其添翰ニ依リ鑑札下渡スヘシ但鑑札下渡ノ上ハ

其旨原役所へ通知シ原役所ニ於テハ其通知ヲ得テ臺帳消除スヘシ

一 營業ノ種類

一 雇人ノ員數

一 該則納税ノ否但製造人ナルキハ移轉前日迄ノ賣上高及納税ノ納否

第九條 營業者他府縣ニ移轉スルキハ之ヲ下渡シ該郡區役所ニ於テ鑑札下渡辦

ノ旨回報ヲ得テ營業臺帳消除スヘシ他府縣ヨリ移轉シ來リタルモノアルキハ

營業臺帳へ登記免許鑑札下附シタル上其旨關係ノ郡區役所へ報道スヘシ

第十條 製造人廢業ノ節ハ納期ニ拘ラス製造税ヲ完納セシムヘシ

第十一條

第十二條 雇人増加ヲ届出レバ税則第八條ニ照シ該期ノ増税其時々徴収スヘシ

第十三條 製造ハヨリ届出タル賣上金高調査ノ上ハ第四號雛形ニ倣ヒ賣上金

高調査表ヲ製シ毎年八月五日限り進達スヘシ

第十四條

第十五條

第十六條 左ノ諸表ハ各其離形ニ照準毎半期之ヲ調製シ翌月十五日限り差立收
税課ニ送付スヘシ

菓子製造營業稅表
菓子製造營業稅表
營業鑑札受拂計算
仕入出賣鑑札下渡高
菓子營業人員調査表

第五号離形
第六号離形
第七号離形
第八号離形
第九号離形

第一号離形

圖略面表

大日本帝國政府

第何號

菓子製造營業免許鑑札

廣島縣何何番屋敷

何ノ誰

主稅風
御印

ハ

裏面略圖

郡役所
區所印

明治年月日

廣島縣

縣廳印

第二号離形

木製寸法 縦巾二寸三分
横巾一寸七分

一營業二種以上ヲ兼ヌル者ハ(イ)符號ノ箇所ニ其兼業名ヲ朱書スヘシ例令ハ
製造卸賣及小賣ノ業ヲ兼ヌル者ハ製造鑑札ニハ卸賣小賣兼業ト記シ卸賣鑑
札ニハ製造小賣兼業ト記載スルカ如シ
一露店又ハ呼賣ヲ業トナス者ニ下附スル者ハ鑑札用紙(ロ)符ノ箇所ニ(露店)
又ハ(呼賣)ト朱書スヘシ

表 面

番 號

菓子(仕入)鑑札
(出賣)鑑札

何 部 何 町 何 番 屋 敷
製 造 (卸 賣) 小 賣 人 何 ノ 誰
携 帶 人 姓 名

裏 面

明 治 何 年 何 月

區 部 役 所

印 燒

第三號雛形

製造人・部

菓子營業免許鑑札帳

何 區 部

(帳簿格式ハ略ス)

第四號雛形

菓子賣上金高調査表

(表式ハ略ス)

第五號雛形

菓子營業稅表

(表式ハ略ス)

第六號雛形

菓子製造稅表

(表式ハ略ス)

第七號雛形

營業鑑札受勅計算表

(表式ハ略ス)

第八號雛形

仕入鑑札渡高表
出賣

(表式ハ略ス)

第九號雛形

菓子營業人員調査表

(表式ハ略ス)

●甲第百十六號

明治十八年六月十一日

菓子營業人心得書別紙ノ通相定來ル七月一日ヨリ施行ス

(別紙)

菓子營業人心得書

第一條 菓子營業ヲ爲サントスルモノハ明治十八年五月第十一號布告菓子税則ヲ遵守シ左ノ條項ニ從フ

第二條 營業者ニ第一号雜形ニ倣ヒ各自標札ヲ調製シ營業場戶外ニ掲グヘシ

第三條 營業者ハ左ノ通り帳簿ヲ調製スヘシ

製造人

菓子製造帳

製造ノ年月日種類數量及代價等ヲ記シ毎月合計ヲ置クモノトス

菓子賣上帳

賣渡ノ年月日種類數量及代價并買主ノ住所氏名等ヲ廉毎ニ記入シ每

月合計ヲ付シ置クモノトス但小賣ヲ兼タルモノニシテ自製ノ菓子ヲ需用者ニ賣捌キタル分ハ其日締高ヲ以テ記入シ買主ノ住所氏名ヲ記スルニ及バス

製造原品買入帳

製造原品ノ種類數量及代價并買入先ノ住所氏名月日等ヲ記入シ毎月合計ヲ附シ置クモノトス

卸賣人

菓子買入帳

買入ノ年月日種類數量及代價并買入先ノ住所氏名等ヲ廉毎ニ記入シ毎月合計ヲ附シ置クモノトス

菓子賣渡帖

賣渡ノ年月日種類數量及代價并買主ノ住所氏名等ヲ廉毎ニ記入シ毎月合計ヲ附シ置クモノトス

小賣人

菓子買入帖

卸賣人ノ買入帳記載方ニ同シ

第四條 營業者不在又ハ事故アルハ代人ヲ置キ税則ニ關スル諸般ノ事ヲ辨セシムヘシ
兼場合ニ於テハ委任狀寫ヲ添ヘ其人名ヲ所轄郡區役所及本縣收稅課派出所ヘ届出ヘシ

第五條 税則第十二條ニ據テ差出ス雇人届ハ第二号雛形ニ倣ヒ所轄郡區役所ヘ差出スヘシ

第六條 税則第十三條ニ據テ差出ス製造高及賣上金高届ハ第三号雛形ニ倣ヒ所轄郡區役所ヘ差出スヘシ

第七條 他府縣ヘ移轉營業セントスル者ヘハ添翰附與スヘキニ付移轉先ノ府縣郡區町村名等ヲ詳記シ免許鑑札ヲ添ヘ製造人ハ移轉前月マテノ賣上高三所轄郡區役所ヲ經テ出願スヘシ

第八條 他郡區ヘ移轉業セントスル者ハ第七條ニ準シ所轄郡區役所ヘ出願スヘシ

第九條 製造人廢業ノ節ハ納期ニ拘ラス製造税ヲ完納スヘシ

第十條 製造人廢業ノ節ハ當日マテノ賣上金高書ヲ第三號雛形ニ倣ヒ調製シ廢

業届ヘ添ヘ所轄郡區役所ヘ差出スヘシ

第壹号雛形

木札寸法巾八寸堅二尺九寸

鑑札番號

製造
菓子御賣營業
小賣

廣島縣何郡何町何番屋敷
何之誰

第二号雛形

雇人届

明治何年何月何日雇入

何縣何郡何町
何ノ誰

何年何月何歲何月

明治何年何月何日雇人

何縣何郡何町
何ノ

誰

何、、、、、、ケ月

人員合計何人

右雇人明治何年一月一日現在人員前記ノ通相違無御座候也

七月一日

何郡何町何番屋敷
何區何村ノ

年月日

製造(御賣)(小賣)人

戸長何

ノ

誰

郡區長宛

新規營業願ノ際届書モ右ニ倣フヘシ

雇人増員届

何縣何郡何町
何區何村ノ

明治何年何月何日雇人

何

誰

何年何月何歳何ケ月

、、、、、、、、

右雇入候ニ付此段御届仕候也

年月日

製造(御賣)(小賣)人

戸長何

ノ

誰

何郡何町何番屋敷
何區何村ノ

郡區長宛

菓子製造高届書

越高何程

一千菓子

何程

此見積代金

幾斤幾貫目
何個ノ類
以下之ニ倣フ

越高何程

一蒸菓子

何程

此見積代金

越高何程

一 雜菓子 何程
 此見積代金
 越高 何程
 一 何々 何程
 此見積代金
 見積代金合計 何 圓
 (賣上高届書ナレハ)
 菓子賣上金高届書
 一 賣上代金 何 圓
 但營業人へ賣渡シタル分
 (小賣兼業ノ者ナルトキハ)
 一 賣上代金 何 圓
 但店小賣ノ分
 賣上代金合計 何 圓
 右從 年月 日至 年月 日製造高(賣上金高)前記ノ通相違無御座候也

何郡何村何番屋敷
 製造人 何 之 誰
 戸長 何 之 誰
 年月日

郡區長宛

●甲第百二十一號 明治十八年六月十五日
 奉年(五月)第十号布告醬油稅則來ル七月一日ヨリ施行相成候付テハ右施行後醬油卸賣^買屋又ハ仲買^買ヲ總稱ス小賣ヲ營業又ハ之ヲ廢業スルモノハ其都度届出ツヘシ但本文届書ハ其所轄本縣収稅課派出所へ差出スヘシ
 ●甲第百二十二号 明治十八年六月十五日
 自家用料ノ醬油ハ國稅檢査員之ヲ檢査ス
 ●丙第百十号 明治十八年六月廿六日
 本年(五月)丙第百七拾號本縣達歲入豫算條規ニ屬スル歲入豫算明細表事由欄内へ全條規第三條ノ標準額ヲ掲ケ増減ヲ生スル者ハ其理由ヲ記載スヘシ此旨相達候事
 ●丙第百五拾四號 明治十八年七月廿四日

諸稅則違犯者ヲ告發シタルルハ其時々違犯ノ廉及被告人ノ住所姓名及告發シタル月日等ヲ記シ收稅長ヘ報告スヘシ此旨相違候事

但本年度ニ於テ既ニ告發シタルモノハ本文ノ例ニ依リ其際報告スヘシ

●縣丙第二百九拾三號 明治十八年九月廿五日

本年(四月)丙第四百四拾四號本縣違酒稅特約取扱手續ニ據リ郡區長ニ於テ特約必要ト思料スルモノアルルハ其事由ヲ詳悉シ收稅長ハ商議ノ上特約取計候義ト心得ヘシ此旨相違候事

●縣丙第三百拾貳號 明治十八年十月十日

租稅決算後過誤納アルヲ發見シ下戻ヲ要スルルハ其事由ヲ具シ別途還付ヲ請求スヘシ此旨相違候事

但十七年(七月)丙第六拾九號違誤納還付及更正手續第七條ハ刪除ス

●縣令甲第六拾九號 明治十九年四月十六日

賣藥讓渡及滿期鹽札出願ノ際其賣藥請賣行商者有無願書ニ附記スヘシ

右布達ス

●縣令甲第七拾四號 明治十九年四月十九日

歲入收納手續左之通之ヲ定ム
右布達ス

歲入收納手續

第一條 此手續ニ掲クル歲入トハ國庫常用部ヘ收入スル處ノモノニシテ分テニ

部トス

第一部租稅

第二部手數料ノ性質ヲ以テ徵收スル諸收入官有ノ財產物品ヨリ生スル諸收入

營業益金

罰金過料沒收金ノ類

諸貸付若クハ過渡等ノ返納金

特別ノ事務ニ充ル諸寄附金等總テ租稅外收入

第二條 此手續ニ於テ納人ト稱スルハ戶長各納稅者其他政府ニ對シ仕拂ノ義務ヲ有スル者ヲ云フ

第三條 此手續ニ掲クル金庫トハ大藏省金庫局其出張所及國庫金出納所ヲ云フ

第四條 金庫ノ収支ハ臨時急施ヲ要スルモノヲ除クノ外總テ大藏大臣ノ指定シタル開庫時間ニ限ル

第五條 歳入ニ係ル現金ハ直ニ金庫ニ收納スルモノトス但左ニ掲クル各項ノ収入ハ現金ヲ各廳ニ收納ス

一 公賣処分ニ依リ収入スル税金

一 科料 過料共

一 沒収金

一 審察官吏拾得金

一 海員雇入証書公認手数料

一 海外旅券手数料

一 郵送自弁費繰替返納金

第六條 歳入ハ徵稅令書(第一号書式)若クハ納額告知書(第二号書式)ヲ發テ之ヲ徵収ス但前條但書ノ収入ニシテ各廳ニ現金ヲ收納スルモノハ此限ニアラス

第七條 第一部歳入中内國稅ヲ徵収スルルハ郡區長ヨリ戸長若クハ各納稅者ニ

對シ徵稅令書ヲ發スルモノトス

第八條 戸長ハ徵稅令書ヲ受領シタルルルハ其町村一人別納額元帳ニ據リ納期日以前ニ各納稅者ニ徵稅傳令書(概子第三号)ヲ發シテ税金ヲ取纏ム

第九條 第二部歳入ヲ徵収スルルハ會計主務官ヨリ各納人ニ納額告知書ヲ發スルモノトス

第十條 納人既多アリテ其組合代理ヲ撰ヒ之ニ委託シテ納金ヲサントシ其物件所在ノ郡區役所ヲ經テ其旨ヲ申立ルルルハ其代理人ニ對シテ納額ヲ集計シタル納額告知書ヲ發ス

第十一條 第五條但書ニ屬スルモノヲ除キ其他ノ歳入ハ總テ納人現金ヲ金庫ニ納付スヘシ

第十二條 前條ニ依リ納人ハ現金ヲ金庫ヘ納付スルルルハ徵稅令書若クハ納額告知書ニ接續シタル上納書正副共ニ年月日ヲ記入シ記名捺印シ(見認印又花押等ニテモ差支ヘナシ)之ニ現金ヲ添ヘ指定シタル金庫ヘ持參スヘシ

第十三條 金庫ニ於テハ納人ヨリ歳入ヲ領収スルルルハ其持參シタル徵稅令書若クハ納額告知書ニ領収ノ証ヲ記シ之ヲ納人ニ交付ス

第十四條 既納ノ歳入下戻ヲ要スル片ハ既納金拂戻証ヲ納人ニ交付ス納人ハ該証書ヲ指定シタル金庫ヘ持參シ現金ヲ受取ルヘシ

第十五條 現行布達々中其手續ニ抵觸スル條項ハ廢止ス

第一号書式

○イ印ハ 郡區役所ノ印

○ロ印ハ 金庫ノ印

○ハ印ハ 金庫取扱主任ノ印

徵 稅 令 書

第何號	何郡何村氏名	明治何年度	項ヲ掲ク	何稅	目ヲ掲ク	第何期	何年
①		①	一金何圓				
			何年何月何日限リ何地國庫金取扱所へ上納				
			廣島縣何郡長				
			明治何年何月何日	氏名			印

上納書

正第何號	項ヲ掲ク	何稅	目ヲ掲ク	明治何年度	第何期	何年
①	一金何圓					
	何年何月何日納濟					
	右 上 納 候 也					
	何郡何村					
	明治何年何月何日	氏名				印
副第何號	項ヲ掲ク	何稅	目ヲ掲ク	明治何年度	第何期	何年
②	一金何圓					
	何年何月何日納濟					
	右 上 納 候 也					
	何郡何村					
	明治何年何月何日	氏名				印

第二號書式

納額告知書

○ニ印ハ 會計課ノ印
○ロ印ハ 金庫ノ印
○ハ印ハ 金庫取扱主任者ノ印

第何号

何區何町氏名納

明治何年度

何科

項ヲ掲ク

何科

目ヲ掲ク

明治何年何月何分

一金何圓

但何料

何年何月何日領收

右何年何月何日限リ何地國庫金取扱所へ上納

廣島縣會計主務官

明治何年何月何日

氏

名

印

止一第何號

明治何年度

何科

項ヲ掲ク

何科

目ヲ掲ク

明治何年何月何分

上納書

一金何圓

但何料

何年何月何日納濟

明治何年何月何日

何區何町

氏

名

印

副一第何號

明治何年度

何科

項ヲ掲ク

何科

目ヲ掲ク

明治何年何月何分

一金何圓

但何料

何年何月納濟

右納候也

明治何年何月何日

何區何町

氏

名

印

第三號書式

寸法用紙適宜

第何号 何ノ誰納

一金何圓何錢

明治何年第何期分地租

右明治何年何月何日限リ上納

年月日 戶長 何ノ誰 印

刷印

第何號

一金何圓何錢 地租 戶長 何ノ誰 印

右正ニ領收候也

年月日 何ノ誰 殿

徵稅傳令書

●縣令丙第百拾貳號 明治十九年四月廿日

郡區長ヨリ戶長ニ對シテ徵稅令書ヲ發シタル後減額ノ爲メ金額ノ訂正ヲ要スル
片ハ左ノ通心得ヘシ

一 郡區長ハ徵稅令書發付後減額ヲ要スル片ハ通報書ヲ戶長ニ發スヘシ

一 前項ノ場合ニ於テ戶長ハ書式第一號第三例不納ノ例ニ準シ上納書ニ減額ノ
金員ヲ掲ケ減額報告書トナシテ金庫ヘ送附スヘシ

一 不納減額共ニ報告ヲ要スル片ハ上納書不納額減額ヲ合計シタル金員ヲ掲ケ
不納并減額報告書トナシテ金庫ヘ送附スヘシ

●縣丙第百拾三號 明治十九年四月廿日

國稅不納ニ係ル官沒物品公賣ノ節ハ目今別表ニ倣ヒ落札許可ノ日ヨリ五日以内
ニ報告スヘシ

官沒物品公賣報告表

酒造	稅目	品目	目數	量	金員	落札人住處氏名
酒	清	酒	何	石	金何程	何郡區何町村 何ノ誰

同	同	倉	庫	棟	同	同	同
同	同	瓶	何	個	同	同	同
小	計	同	同	同	同	同	同
車	稅	不	納	金	何	程	何
地	方	稅	不	納	金	何	程
小	計	同	同	同	同	同	同
合	計	金	何	程	同	同	同

右ハ何月何日公賣取計候條及報告候也

明治何年何月何日

縣令宛

何郡(區)長 何某印

備考 本表中朱字ハ〇印一二ノ例ヲ示スモノナリ
故ニ其物ニ從ヒ類ヲ分チ一一記載スヘシ

●縣丙第七拾三號 明治十九年六月廿八日

明治十九年(六月)大藏省令第二十一號印紙類賣下賣捌規則取扱手續左ノ通り心

得ヘシ

印紙類賣下賣捌規則取扱手續

- 第一項 印紙類ハ需用ノ景況ト現在高トテ參酌シ凡六ヶ月分賣下ノ見込相立第一號雜形ニ倣ヒ収稅長ニ請求スヘシ
 - 第二項 印紙類ノ受拂ハ主任官二名以上ノ立會ヲ要スルモノトス
 - 第三項 印紙類到達ノ節ハ日數五日以内第二號雜形ニ倣ヒ到達ノ月日ヲ記載セシ領收証書ヲ収稅課ニ送附スヘシ
 - 第四項 印紙類賣捌ノ標札ハ第三號雜形ニ依リ調製下付スヘシ但シ二種以上賣捌クモノハ各種チ一枚ニ併記スルモ妨ケナシ
 - 第五項 他府縣又ハ他郡區ヨリ轉籍若クハ寄留シタルモノニシテ印紙類ノ賣捌ヲ請願スルルハ規則第七條二項ノ年限中ニ係カテサルモノナルヤ否及第廿一條ニ據リ禁止セラレタルコトナキヤ否ヲ詳查スヘシ
 - 第六項 印紙類代金ノ延納ヲ許可シタルルハ第五号書式ニ倣ヒ上納受書ヲ差出サセ印紙類ヲ下渡スヘシ
- 但抵當トナスヘキ公債証書ノ價格ハ第六号表ニ依テ之レヲ定ムヘシ

第七項 印紙類代金延納ヲ許可シタルルハ其代金ノ收入方翌年度ニ亘ル者ハ現
 收入年度ノ稅表ニ編入スヘシ

第八項 印紙類ヲ運送會社ニ運搬セシメタル分ハ到達ノ節社員等爲立會檢査ヲ
 遂ケ若シ損傷汚染或ハ謾糊粘着等ニテ全ク使用シ得ヘカラサルモノヲ發見
 シタルルハ社員ノ手續書ヲ徵シ之ニ其枚數調書ヲ添付シ分方ヲ稟議スヘシ
 但天災地變等ニ罹リタルモノハ本項手續書ニ社員外二名以上ノ証明ヲナサ
 シムヘシ

第九項 印紙類萬一封中ノ員數ニ過不足ヲ生シタルモノアルルハ其封紙帶紙ニ
 立會官吏ノ姓名書ヲ添付シ分方ヲ稟議スヘシ

第十項 印紙類ノ受拂ヲ爲シタルルハ主任ニ於テ即日受拂及ヒ殘高ヲ記帳シ現
 在高ト對照スヘシ

第十一項 前項ノ場合ニ於テ主任官交代スルルハ帳簿ト現在高トヲ對照シ受渡
 シヲナスヘシ

第十二項 印紙類賣下賣捌規則第十七條ニ依リ返納セシ印紙(代金延納ニ係ル分ヲ除ク)ハ
 其種類(長角形ヲ區別シ)枚數及ヒ代金等明細仕譯書ヲ添付シ其時々代金下付方ヲ稟

議スヘシ

但代金納付ト印紙返納ト其時日年度ヲ異ニスルルハ代金納入年度ノ區別ヲ
 立テ之ヲ稟議スヘシ

第一號雜形

前々年度賣下高何程
 前年度賣下高何程
 合 何 程

但(平均一ヶ月)
 前々年度前年度平均ヲ得ルル能ハサ
 但(ルモノハ前六ヶ月分ヲ記載スヘシ)
 一何印紙 何枚
(印紙ノ異ナル毎ニ前同シ)
 右ハ何年何月ヨリ何月迄六ヶ月分及請求候也
 年 月 日 何郡區長 名 印
 収稅長宛

第二號雜形

諸印紙類領收証書用紙

何年月日差立何年月日到着

領收証

一 煙草何々用何厘印紙

一 同角形何厘印紙

一 証券何錢印紙

一 訴訟用何圓印紙

一 賣藥角形何錢印紙

一 同長形何錢印紙

何枚

何枚

何枚

何枚

何枚

何枚

一 約束手形何錢用紙

一 爲替手形何錢用紙

右領收候也

何枚

何枚

年月日

何郡(區)長名

印

收稅長宛

(第三號雛形)

郡區役所々轄限リ
通り番號

曲尺二尺九寸

面表

第何號

烙印

何々印紙賣捌所

何縣何國何郡何(町村)何番屋敷

何

某

曲尺二尺九寸

(第四號雛形)

明治何年何月印紙類賣捌人員表

郡區名

類

分

規則第五條ノ受恩典者

規則第六條ノ受恩典者

計

非恩典者

合

計

規則第五條ノ受恩典者

規則第六條ノ受恩典者

非恩典者

前期ニ比シ増減

右之通候也

年月日

収税長宛

何郡(區)長 氏名 印

●甲第百拾九號

明治十九年六月卅日

明治十九年(六月)大藏省令第二十壹号ヲ以テ印紙類賣下賣捌規則相定メラレ候ニ付キ印紙類賣捌人心得書左ノ通相定メ來ル七月一日ヨリ施行ス

但明治十七年(六月)甲第六十八號及明治十八年(四月)甲第八拾六號本縣布達ハ同日ヨリ廢止ス

右布達ス

印紙類賣捌人心得書

第一條 印紙受拂帳ニハ受拂殘ノ三座ヲ設ケ各座中印紙種類ヲ別子(印紙賣捌ノモノヨリ成規ニ據テ買受ケタル印紙ハ其) 毎月小計ヲ付シニケ月目ヨリハ事由及賣渡人ノ住所氏名ヲ詳記スヘシ

通計ヲ付スヘシ

但帖簿ハ使用后三ケ年間必ス保存スヘシ

第二條 印紙類賣捌賣下規則第十條但書ニ據リ印紙類代金ノ延納許可ヲ得ント欲スルモノハ郡區役所ヘ願出ヘシ

第三條 前條ノ許可ヲ得タル片ハ第一號書式ニ倣ヒ受書ヲ製シ郡區役所ヘ差出スヘシ

但抵當トナスヘキ公債證書ノ價格ハ第二號表ニ據テ之ヲ定ムヘシ

第四條 賣捌人ハ每三ヶ月分賣捌高ヲ取調第三號雛形ニ倣ヒ印紙類賣捌高表ヲ調製シ翌月五日限リ租稅檢査員派出所ヘ差出スヘシ

但第一條但書ニ該當スル印紙類ハ元受高ヘ朱字ニテ外書スヘシ

(第一號書式)

消印

印紙賣下代金上納御受書

印紙

一印紙代金何圓

内譯 (印紙種類及枚數ヲ掲記スヘシ)

右印紙代金ノ儀ハ來何月何日無相違上納可仕依テ右代金ニ對シ別紙公債証書
ヲ抵當トシテ差出シ候若シ上納期日ニ不納候片ハ該公債証書御賣捌ノ上印紙
御徴収相成聊カ異議無之且印紙類ノ保護ハ勿論萬一水火盜難等有之候共右印
紙代金ハ急度上納可致候此段御受申上候也

但印紙類賣下賣捌規則第十七條ノ場合ニ於テハ本文ノ期限ニ拘ハラス直ニ
上納可仕候也

國區町番屋敷

印紙賣捌人

年月日

名 印

他人記名ノ公債証書ヲ借受抵當トスル片ハ其記名者
ノ連署ヲ要スヘシ戸長與印同斷

郡區長宛

右相違無之依テ與印候也

(第貳號表)		年月日	右戸長	印
種類	價格	額	面	抵當價格
秩祿公債証書	百圓ニ付	百	百	圓
新公債証書	同	七	拾	圓
利一分金祿公債証書	同	百		圓
利七分全	同	八	拾	圓
利六分全	同	七	拾	圓
利五分全	同	六	拾	圓
起業公債証書	同	八	拾	圓

舊公債証書ハ實額金高ノ四分ノ一

(第三號雜形)

自明治何年何月何日 煙草印紙賣捌高表
至明治何年何月何日

元	受	高	賣	捌	高	殘	高
角印紙	帶印紙	計	角印紙	帶印紙	計	角印紙	帶印紙
員	員	員	員	員	員	員	員

何郡(區)何町(村)何番屋敷

印紙賣捌人

年月日

知事宛

名

印

備考 元受高ノ金員ハ拂受タル代金ニアラスシテ拂受ケタル印紙ノ税額ヲ記
スヘシ以下同シ

自明治何年何月何日 証券印紙賣捌高表
至明治何年何月何日

元	受	高	賣	捌	高	殘	高
印紙	爲換手 形用紙	約束手 形用紙	計	印紙	爲換手 形用紙	約束手 形用紙	計
員	員	員	員	員	員	員	員

右ノ通相違無御座候也

何郡(區)何町(村)何番屋敷

印紙賣捌人

年月日

郡區長宛

名

印

自明治何年何月何日 賣藥印紙賣捌高表
至明治何年何月何日

元	受	高	賣	捌	高	殘	高
金	員	員	員	員	員	員	員

右ノ通相違無御座候也

何郡(區)何町(村)何番屋敷

印紙賣捌人

名

印

年月日

郡區長宛

●甲第百二拾二號

明治十九年七月一日

本年大藏省令第二十一號ヲ以テ印紙類賣下賣捌規則發布ニ付キ賣藥營業者ハ所轄郡區役所ヘ願出印紙買入鑑札ヲ受ケ印紙買入ヲ爲ス毎ニ之ヲ携帶シ印紙賣捌人ニ示スヘシ右布達ス

●丙第百七拾六號

明治十九年七月五日

本年七月甲第百二十二號ヲ以テ賣藥印紙買入鑑札ノ義布達候ニ付テハ右鑑札ハ左ノ雛形ニ倣ヒ郡區役所ニ於テ調製下渡スヘシ但鑑札調製費用ノ義ハ煙草印紙買入鑑札等全様ノ手續ヲ爲スヘシ

木製堅二寸三分

寸法横一寸七分

各郡區ノ通番號

表

番 号

賣藥印紙買入鑑札

何國何郡區町村何番屋敷
營業者 姓 名

明治十九年何月何日

裏

何郡(區)役所燒印

●丙第百七拾八號

明治十九年七月六日

土地開墾ヲ願出ルモノアルキハ土地所在ノ戶長於テ左ノ事項ヲ詳記シ水理其他支障ノ有無取調副申スヘシ
一 河川ノ名稱及巾員距離

但沿川ノ地ハ水源流末等ヲ記入スヘシ

一 國縣道及里道ノ區別等級距離

一 近傍ニ名邑著名區舊跡港灣等アルルハ其距離

一 開墾地ノ地勢(險阻傾斜平坦ノ類)及ヒ四境ノ地種目

一 該地開墾セハ自然土砂崩壞水源濁濁風損障風潮ノ禍害ヲ釀スヘキ恐レナキ
ヤ否

●訓令甲第四号

明治十九年八月廿三日

明治十六年五月丙第八十八号本縣達報告期限翌年一月十日ニ更正スヘシ

●訓令甲第十一号

明治十九年九月八日

印紙類賣捌人ヨリ返納スル所ノ印紙類代金下付方ノ義ハ本年大藏省令第廿壹号
印紙賣捌規則ノ改正實施前后ヲ以テ區界ヲ立テ古下付金ノ出所ヲ異ニスルモノ
ニ付該代金下付ノ請求書差出方左ノ通り心得ヘシ

一 本年六月三十日以前ノ返納ニ係ルモノハ歲入出納規則第三十三條ニヨリテ
歲入下戻計算書ヲ以テ其ノ代金ノ下戻方ヲ請フコト從前ノ通りタルヘシ

一 本年七月一日以後返納ニ係ルモノハ本年丙第百七拾三号達第十二項ニヨリテ

別途之レヲ買戻スヘキモノナルヲ以テ別紙雛形ニ照準買戻仕譯書ヲ添ヘ其代
金下付方ヲ稟議スヘシ

返納紙買戻代金下付稟議書雛形(用紙普通美濃十三行野紙)

一金何圓何拾何錢何厘

右ハ當郡管内印紙類賣捌人事故ニヨリテ返納セル印紙類該規則第十七條ニヨリ
割印ヲ以テ買戻候分御下付相成度候依之別紙仕譯書相添此段上申候也

年 月 日

何 郡 區 長

知 事 宛

返納印紙買戻仕譯書

賣捌人死亡等ニテ代金受取人ヲ異ニスルモノハ受取
人ノ國郡區町村氏名ヲ詳記スヘシ

一 煙草何匁用何厘印紙何枚

十九年何月何日賣捌人何國何郡何町村何
某廠業ニ付返納

此類面金何圓
此買戻代金何圓

同上

一 煙草角形何厘印紙何枚

此額面金何圓	
此買戻代金何圓	
一証券何錢印紙何枚	同上
此額面金何圓	
此買戻代金何圓	
小計額面金何圓	
此買戻代金何圓	
一約束手形何錢用印紙何枚	支出ヲ要ス可キ場所 十九年何月何日賣捌人何國何郡何町村何某 賣捌方滿期ニ付返納
此額面金何圓	
此買戻代金何圓	
一爲換手形何錢用紙何枚	同上
此額面金何圓	
此買戻代金何圓	
小計額面金何圓	
此買戻代金何圓	支出ヲ要ス可キ場所

一訴訟用何錢印紙何枚	十九年何月何日賣捌人何國何郡何町村何某賣 捌方禁止ニ付返納
此額面金何圓	
此買戻代金何圓	
一賣藥角形何厘印紙何枚	同上
此額面金何圓	
此買戻代金何圓	
一賣藥長形何厘印紙何枚	同上
此額面金何圓	
此買戻代金何圓	
小計金何圓	
此買戻代金何圓	支出ヲ要ス可キ場所
合計	
一煙草何匁用何厘用印紙何枚	
此額面金何圓	
此買戻代金何圓	

一煙草角形何厘印紙何枚

此額面金何圓

此買戻代金何圓

計煙草印紙何枚

此額面金何圓

此買戻代金何圓

一証券印紙何錢何枚

此額面金何圓

此買戻代金何圓

計証券印紙何枚

此額面金何圓

此買戻代金何圓

一約束手形何錢用紙何枚

此額面金何圓

此買戻代金何圓

一爲換手形何錢用紙何枚

此額面金何圓

此買戻代金何圓

計手形用紙何枚

此額面金何圓

此買戻代金何圓

一訴訟用何錢印紙何枚

此額面金何圓

此買戻代金何圓

計訴訟用印紙何枚

此額面金何圓

此買戻代金何圓

一賣藥角形何錢印紙何枚

此額面金何圓

此買戻代金何圓

一 賣藥長形何錢印紙何枚

此額面金何圓

此買戻代金何圓

計賣藥印紙何枚

此額面金何圓

此買戻代金何圓

通計諸印紙何枚

此額面金何圓

此買戻代金何圓

●訓令甲第二十四號

明治十九年九月二十一日

賣藥行商人ニ於テ預ケ置キ藥杯ト唱ヘ無印紙ノ賣藥ヲ販賣シ或ハ一回使用シタル印紙ヲ破損セサル樽包紙ノ一邊ヲ開放シ數回入替ヲ自在ニスル等種々ノ奸計ヲ施シ遺稅ヲ計ルモノ有之赴勿論稅則ノ罪人ナレハ周密取糺相當處分スヘキ筈ニ候得共奸曲者ヲシテ其ノ目的ヲ達セシメルモ必竟需用者カ印紙帖用ノ物ニ比シ幾分ノ廉價ナルニ迷ヒ之レヲ購求スルモノアルニヨル故ニ右等ノ賣藥ヲ購求

スルモノハ或ハ官廳へ呼出シ尋問スル等ノ場合モ有之自然需用者ノ迷惑トモ可相成候條眼前ノ利欲ニ迷ヒ奸商等カ甘言ニ惑サレ右等ノ賣藥ヲ購求又ハ預リ置ク等心得違無之様厚ク注意セシメ且ツ目今右等ノ賣藥ヲ所持スルモノハ購求又ハ預リ年月日方名貼敷及製造人住所氏名等取調届出ヘシ

●訓令甲第三十一號

明治十九年九月廿八日

酒造稅則附則取扱心得書
酒造稅則附則取扱心得書左ノ通り相定メ本年十月一日ヨリ施行スル者トス

右訓令ス

酒造稅則附則取扱心得書

第一項 免許鑑札ハ豫メ授與スヘキ員數ヲ見積リ收稅長ニ請求スヘシ

第二項 免許鑑札記載方ハ第一号雛形ニ倣フヘシ

第三項 免許鑑札ハ其ノ年一期有効ノモノニ付キ引續キ免許ヲ請フモノアルトキハ最初授與シタル鑑札ヲ差出サセ其ノ鑑札ノ裏面へ該期ノ免許証印ヲ捺シ再ヒ之ヲ授與スヘシ

但シ裏面ニ餘白盡キタルトキハ更ニ新ノ鑑札ヲ授與スヘキモノトス

第四項 免許証印ハ左ノ雛形ニ倣ヒ郡區役所ニ於テ調製スヘシ

自家用料	何郡何町何番屋敷	某	木製
清酒何斗何升	何		寸法
燒酎、、、			曲尺
味淋、、、			五寸
			横市曲尺
			八寸

第五項 製造者ハ豫テ帳簿ヲ製シ左ノ件々可成詳記シ置キ國稅檢査員ノ檢閱ニ

供スヘシ

第一 一類酒ハ元玄米元白米汲水ノ石數配付及ヒ掛米ノ月日

第二 二類酒ハ蒸溜原品(酒粕又ハ酒滓)ノ量目及ヒ石數并ニ蒸溜ノ月日

第三 三類酒ハ元玄米元白米配用酒ノ石數及ヒ揮立等ノ月日并ニ酒粕ノ量目

第四 己ニ使用シタル酒類ハ其石額月日及ヒ其使途

第六項 製造廢止ノ節ハ其旨所轄區役所ニ届出免許證札ヲ返納スベシ

第一號書式

(用紙半紙)

自家用料酒類製造御届

一濁酒何斗何升

内 何斗何升 何月何日頃製造

元玄米何斗何升

元白米何斗何升 汲水何斗何升 何月何日頃製造

一燒酎何斗何升

内 何斗何升 何月何日頃製造

酒粕何貫目

内 何斗何升 何月何日頃製造

一味淋何斗何升

元白米何斗何升 燒酎何斗何升

元玄米何斗何升

(他ノ酒類モ之ニ準スヘシ)

右ハ明治何年二期自家用料酒類前書ノ通製造致度候間免許證札御下渡被下度此

段御届仕候也

何郡何町何番屋敷

何 何 某 某

戸長 何 某 印

明治何年何月何日

何郡長何 某 殿

第二号書式

(用紙半紙)

製造種目見込石數(増)(減)(變換)御届

免許鑑札番號

一 濁酒何斗何升

何年何月何日御届高

元玄米何斗何升

元白米何斗何升

汲水何斗何升

一 濁酒何斗何升

内 何斗何升

何月何日頃製造

今度増石ノ分

元玄米何斗何升

元白米何斗何升

汲水何斗何升

合計濁酒何斗何升

元玄米何斗何升

元白米何斗何升

汲水何斗何升

(減石届ハ左ノ如ク記載スヘシ)

一 濁酒、、、、

何年何月何日御届高

元玄米、、、、

元白米、、、、

汲水、、、、

内

濁酒、、、、

今度減石ノ分

元玄米、、、、

元白米、、、、

汲水、、、、

差引濁酒、、、、

元玄米、、、、

元白米、、、、

汲水、、、、

(種目増減變換届ハ左ノ如ク記載スヘシ)

一 燒酎、、、、

何斗何升 何月何日頃製造

(何年何月何日御届高ノ内、外)

酒粕、、、、

今度種目(變換ニ付)増減

(他ノ酒類モ右ニ準スヘシ)

右ハ明治何年一期自家用料酒類製造製造種目見込石數前書ノ通(増)(減)(變換)仕候此段御届仕候也

何郡何町何番屋敷

明治何年何月何日

何 某

印

戸長 何 某

印

何郡長 何 某 殿

●訓令甲第四十二号

明治十九年十月十八日

内國稅未納追徵整理順序左ノ通り相定メ十六年十二月 丙第二百七拾四號十七年八月

丙第九十五號本縣達ハ廢止ス

但シ甲乙号様式ハ別ニ之ヲ送附ス

内國稅未納追徵整理順序

第一條 郡區長ハ甲号様式ノ如ク内國稅未納臺帳ヲ調製スヘシ
 第二條 内國稅ノ内事故アリテ翌年度十一月卅日マテニ徵収ヲ完了セサルモノ
 ハ其年度ノ未納元額トシテ臺帳ニ登記スヘシ但シ后日追徵シタルトキハ其ノ
 時々臺帳ヘ記載スヘシ

第三條

第四條 郡區長ハ毎年度ノ末ニ於テ乙號舊式ノ如ク己任年度未納殘高仕譯書ヲ
 製シ四月十五日限リ當廳ヘ進達スヘシ

第五條 郡區長ハ臺帳ニ記載シタル納稅者他管ヘ移住送籍スルトキハ不納ニ係
 ル書類ヲ取り纏メ差出スヘシ但シ管内ニシテ所轄外郡區ヘ移住送籍スルモノ
 ハ直チニ其ノ所轄郡區長ヘ書類引續キナシ同時ニ當廳ニ申報ス可シ

第六條 前條引續ヲ受ケタル郡區役所ニ於テハ之ヲ臺帳ヘ記入シ追徵ノ手續ヲ
 ナスヘシ

●廣島縣令甲第七拾五號 明治十九年十二月廿四日

煙草貸切人帳簿式別紙圖式ノ通相定候條來ル二十年一月一日ヨリ左ニ倣ヒ調製
 ノ上煙草受授之都度無遺漏記載營業人ノ捺印ヲ受ケ置キ檢査ニ供スヘシ

但十八年十二月甲第二百十五号達ハ本文施行ノ日ヨリ廢止ス

(別紙圖式)

半紙堅帖

何年何月何日	
貸切煙草受渡帳	
何縣何郡何町何番地	某
煙草貸切人	

表紙ヲ反シタル形

營業人ノ捺印
テ總ハ下以印

受 年月日 量 目	部	煙草製造人 何郡何町何番地 何	渡 年月日 量 目	部	一廿 年月日 葉煙草何貫目
					二廿 年月日 刻煙草何貫目

書朱

月計 何貫何百目	廿一日 〇	月計 何拾貫目	〇	月計 何拾貫目	〇	月計 何百何拾貫目	〇
月計 何百何拾貫目	廿二日	月計 何拾貫目	〇	月計 何拾貫目	〇	月計 何百何拾貫目	〇

帳簿調製ノ翌月ヨリ月毎ニ通計ヲ付スルモノトス

●訓令甲第九十六号

明治十九年十二月廿八日

民有地第二種賣買讓與及ヒ質入書入願處分後届書ノ義ハ自今差出スニ及ハス

右訓令ス

訓令甲第三拾壹號

明治二十年一月二十八日

第一部内國稅ノ内隨時收入金徵收手續左ノ通相定ム

右訓令ス

第一部内國稅隨時收入金徵收手續

- 一 荒地起返開墾下期明地目變換有租地成其他誤認訂正等總テ徵租ニ係ルモノニシテ其指令ノ時日相當納期ヲ經過スルモノ及既往年度ニ遡リ徵收スヘキモノハ許可ノ日ヨリ三十日以内ニ之ヲ徵收スヘシ
- 但納期内ト雖モ期日切迫シテ二十日間徵收ノ猶豫ナキモノハ本文ニ準シ取計フヘシ
- 一 延納年賦金一時上納出願許可ノモノハ其許可ノ日ヨリ三十日以内ニ之ヲ徵收スヘシ
- 一 酒造并ニ醬油造石稅及菓子製造稅ニテ廢業又ハ賣渡讓與其他臨時徵收ニ係ル場合ニ於テハ其指令又ハ届出ノ日ヨリ七日以内ニ之ヲ徵收ス可シ
- 但至急徵收ヲ要スル場合ニ於テハ本文ノ限ニ非ス
- 一 銃獵稅并ニ新規賣藥營業稅ハ許可通達ノ日ヨリ七日以内ニ之ヲ徵收ス可シ
- 一 新規營業稅及自家用料酒製造ノ類ニシテ戶長ヲ經テ鑑札下付スルモノハ其許可ノ日ヨリ納期日十日以内トシ鑑札下付全時ニ戶長ヲシテ之ヲ領收セシムヘシ

但郡區役所ニ至リ鑑札ノ下付及烙印ヲ請フモノ、類ハ其時々直チニ之ヲ徵收スヘシ

一 歲入取扱順序第六十九條ニ據リ徵稅令書發付ノ請求ヲ受クルキハ直チニ之ヲ調査シ令書請求ノ日ヨリ五日以内ニ之ヲ徵收スヘシ

一 諸印紙稅(訴訟用印)十九年六月大藏省令第貳拾壹号印紙類賣下賣捌規則第十條ニ據リ取扱フモノトス

●訓令甲第三拾貳號 明治二十年二月一日

公賣スヘキ物件ニ關シ債主ノ有無取調方區長若クハ戶長ヨリ照會アリタル時ハ登記所ハ債主ノ有無若シ債主アル場合ニ於テハ其住所氏名ヲモ回答スヘキ旨司法大臣ヨリ始審裁判所登記所ヘ訓令相成タルニ付本年二月一日以降明治十年(十一月)第七拾九號公布ニ依リ公賣處分ノ際ハ其都度登記所ニ照會シ債主ノ有無ヲ取調フヘシ

右訓令ス

●訓令甲第三十三號 明治二十年二月一日

第一部歲入徵稅令書徵稅額表及第一部徵收濟報告表ニ收納區分記載等ノ儀左ノ

通り心得取扱フヘシ
右訓令ス

一 徵稅令書々式中明治何年第何期分トアル欄内ニ記載スヘキ收納區分ハ別表ニ據リ之ヲ記載スヘシ

一 徵稅額表及徵收濟報告書ニ收納區分ヲ記載スルニハ前項徵稅令書ニ記載ノモノト同一タルヘシ

一 新規營業等ニテ豫定納期外隨時收入ニ係ルモノト雖別表收納區分ニ依リ記載シ徵稅令書ヲ發セシ年度ニ編入整理スヘシ

一 前項新規收入ニ係ルモノヲ徵稅額表及徵收濟報告表ニ編入シタルキハ納期欄内納期ノ肩ニ新規ト附記スヘシ

一 廢業等ニ豫定期外隨時收入ニ係ルモノハ其現収スヘキ當該期（月數ヲ以テ徵其月數ヲ）ヲ記載シ徵稅令書ヲ發セシ年度ニ編入整理スヘシ

但酒造稅ニ於テ十月ヨリ翌年三月迄醬油稅菓子稅ニ於テ一月ヨリ三月マテ

ニ廢業セシモノニ係ル收入ハ前年ノ末期分へ編入整理スヘシ

一 土地買上等ニ依リ月割ヲ以テ收入スヘキモノハ其日數ヲ徵稅令書へ記載シ市

街宅地租ハ當該納期ニ編入其他ハ最近ノ納期（四月中畑租ヲ收入スルキハ第一期へ田租ヲ收入スルキハ第三期へ編入整理スヘシ但一月ヨリ三月マテニ屬スル地租ヲ出納開始以前ニ收入スヘキ場合ニ於テハ田租ハ前年ノ第五期市街宅地租ハ前年ノ后半年分へ畑租ノ類ハ前年ノ第二期へ編入整理スヘシ

一 過年度ニ屬スル收入ハ徵稅令書へ所屬曆年ヲ記載シ其徵稅令書ヲ發セシ年度へ編入整理スヘシ

内國稅收納區分表

項	目	收 納 區 分
地租	畑 村 宅 地 租	何年第一期
	郡 田 地 租	全 第二期
鹽 泉 地 租		
	池 沼 地 租	
	山 原 野 地 租	
	雜 種 地 租	

スルモノハ便宜ノ爲メ其配置先ノ管廳へ願出テ該藥毀却ノ証明ヲ受ケタル上其
証明書ヲ以テ所轄郡區役所へ願出ルヲ得ル

●訓令甲第六拾五號

明治廿年三月十九日

明治十九年第廿三號大藏省令ニ遵ヒ賣藥印紙ノ交換及毀却証明ヲ出願スルモノ
アルキハ左ノ手續ニ依リ之ヲ取扱フヘシ

但明治十九年八月第七號訓令ハ廢止ス

第壹條 賣藥印紙ノ交換ヲ願出タルキハ明治十九年第二拾三號大藏省令ニ遵ヒ

印紙交換ノ手續ヲ爲スヘシ

第二條 他府縣ニ於テ毀却証明ヲ請ケタルモノニシテ開封及ヒ印紙ノ交換ヲ出
願スルモノアルキハ其封緘ヲ解キ收稅長ヨリ回付シタル証明書及ヒ封印ニ照
シ相違ナキモノハ相當印紙ヲ下付スヘシ

第三條 他府縣下營業者ニシテ藥品毀却ノ証明ヲ請ハントスルキハ賣藥ノ種目
個數及印紙ノ種類ヲ仕譯シタル願書三通ヲ差出サセ之ヲ現品ニ照シ其既貼印
紙ヲ消印又ハ切斷シタル后願書ニ檢了ノ旨ヲ証明シ其一通ヲ願主ニ下付スヘ
シ

但シ此証明ヲ與フルモノハ其一口ノ印紙價額金拾圓以上ニ限ルヘシ

第四條 前條ニ依リ証明ヲ與ヘタルキハ其藥品ハ適宜堅牢ナル荷造ヲ爲サシメ
嚴密封印シテ願主ニ下付シ開封ハ自己ノ所轄廳へ請フヘキ旨申達スヘシ

但シ營業場ニ遞送ヲ要セス全ク廢業ニ屬スルモノハ再製シ能ハサル様目前
ニ於テ適宜棄却セシムヘシ

第五條 第三條第四條ノ手續ヲ了シタルキハ該証明ヲ與ヘタル願書へ一通ニ封
印ニ用ヒタル印鑑ヲ添ヘ直ニ收稅長へ送付シ他ノ一通ハ保存シ置クヘシ

第六條 此手續ニ據リ印紙交換下付シタルキハ印紙受拂臺帳ニ交換ノ事由ヲ記
載シ置クヘシ

●訓令乙第二百七十二號

明治廿年三月三日

登記法第四十條ニ依リ區戶長ニ於テ調製スル所ノ証明書ハ別紙書式ニ準シ調製
スヘシ

右訓令ス

(別紙)

證明書

何國何區何町何番地
 一宅地(何反何畝)步(又ハ何坪)
 同番地何番屋敷
 一建家(何坪)
 右地券臺帳及何々ニ依リ取調候處現今何國何(區郡)何(町村)何ノ某ノ所有ニシ
 テ且故障無之候也
 明治何年何月何日
 何(區)戶長 氏 名 印
 ○訓令甲第百十三號 明治廿年五月二十日
 客年(五月)丙第百二十九號郡區役場戶長役場租稅徵收ニ關スル帳簿式相違置候
 處戶長役場第一號帳簿式ノ内地租第一二期收納帳二十年度ヨリ別冊ノ通調製ス
 ヘシ
 但租稅傳令書ハ各稅目ヲ列記スヘシ
 右訓令ス
 ○ハ朱書

何年度地租		何 村		人 名
稅 目	第 一 則	第 二 則		
畑 稅	金何程 ①金何程何月何日上納濟 ②金何程何月何日上納濟			何ノ誰
郡村宅地租	金何程 ①金何程何月何日上納濟 ②金何程何月何日上納濟			
山林原野租	金何程 ①金何程何月何日上納濟 ②金何程何月何日上納濟			
計	金 何 程			

○合 計	○金○何程○ 内	○金○何程 内
	金何程。何月何日上納濟 金何程。何月何日上納濟	金何程。何月何日上納濟 金何程。何月何日上納濟

備考
税月分算線ハ各町村税目ノ多少ニ依リ適宜増減スルモノトス

訓令甲第百廿五号 明治廿年六月四日

戸長所有ノ地所建物船舶ヲ賣買讓與又ハ質入書入ニセントシ登記ヲ請フモ明治十九年(八月)法律第壹號登記法第四十條及同年(十二月)司法省令甲第五號第三條ノ証明方ハ戸長次席ノ吏員代テ証明スベシ

訓令甲第百三十一號 明治廿年六月十七日

租税官損票申取扱方明治十八年(七月)丙第二百三十七號達左ノ通り改定ス
但乙號様式ハ別ニ之ヲ送附ス

右訓令ス

一明治十年第七拾九號布告ニ據リ内國税不納者公賣處分ノ末官損ニ歸シタル金

額ハ甲號様式ニ倣ヒ調製シ毎税納期后三十五日以内ニ稟申スヘシ
一前項既往年度ニ屬スルモノハ其年四月ヨリ同九月マテノ分ハ同十月十日以内
同十一月ヨリ翌年三月マテノ分ハ同四月十日以内ニ稟申スヘシ
但處分セシモノナキハ其旨同日限リ申報スヘシ
一荒地成潰地成重複地等調査中又ハ非常ノ災害ニ罹リ備荒儲蓄金ヨリ補助或ハ
貸與取調中若クハ水火災ニ罹リ家屋蕩尽シ納期徴収シ能ハサルハ其延期ヲ爲
スヲ得ヘシ
但該金額ハ既未濟報告表備考欄内ハ事故毎ニ區別記載スヘシ且家屋蕩尽ニ
係ルモノハ其延期セシ期日ヲモ記載スヘシ
一事故アリ處分シ能ハサルモノ及前項調査濟其年度出納閉鎖以前ニ於テ第一項
ノ處分ニ係ルモノアルハ追加官損金額表ヲ以テ其時々稟申スヘシ
●縣令甲第五拾號 明治二十年六月二十七日
左記ノ營業ニ關スル諸帳簿ハ使用后三ヶ年間必ス保存スベシ
一酒造
一醬油製造

一 煙草製造 全仲買 全小賣
 一 賣藥營業 全請賣
 一 菓子製造 全卸賣 全小賣
 ● 縣令甲第五十九号 明治廿年七月五日
 賣藥營業及受賣行商人帳簿式別冊ノ通相定ム

(別冊)
 第一号

表 明治何年

賣藥製造帳

賣藥營業人

何 某

何縣何郡區何町村番邸

堅帳ニ調製スベシ

但シ大小ハ適宜トス

(以下倣之)

備考

一 此帳簿ハ製藥原品買入全使用製造高等各口分ケヲナシテ記入シ月末ニ至レ
 ハ小計ヲ付シ翌月以後ハ通計ヲナスヘシ
 一 印紙交換濟ノ上再裝置ノ賣藥ハ之ヲ製造ノ部へ受ケ其事由ヲ詳記スベシ
 一 越高ハ月計ニ加算セス合計ニ通算スベシ
 藥品買入ノ部

年月日	藥品	品數	量	賣渡人住所	全氏名
前期 越 高 何	々	何百何貫目			
全	何	々何拾何匁			
何年何月何日	何	々何百目	何郡區町村	何	某
、、、、	、	、	、	、	、
月 計	何	々何百貫目			